【注】速報版であり、今後の精査によって数値が変動する可能性があります。

資料3

佐久市産業の現状と将来の方向性に関するアンケート調査結果【速報版】

（令和8年度調査）

令和８年9月

佐久市

【注】速報版であり、今後の精査によって数値が変動する可能性があります。

目 次

Ⅰ アンケート調査の概要 1

1. アンケート調査の目的 1
2. 調査の設計 1
(1)調査対象 1
(2)調査期間 1
(3)有効回答 1
3. 注意事項 1

Ⅱ アンケート結果 2

■ 主なポイント 2
1. 事業概要 13
(1)属性 13
(2)取引先や販路の開拓方法 14
(3)中東情勢の影響 15
2. 経営上の課題 19
(1)現在抱えている経営上の課題等 19
(2)今後強化したい点 20
(3)佐久市で事業を営む上でのメリット・デメリット 21
3. 希望する公的支援 23
4. 事業所等の立地(新設・移転・増設・縮小等)の意向 24
5. これからの成長分野と、佐久の地域特性が活かせる分野 28
6. 産学官連携・企業間連携 40
7. デジタル化や DX、AI の導入状況 43
(1)DX について 43
(2)AI について 45
8. 佐久産業支援センター(SOIC) 47
9. 海外事業展開 48
10. 人材の確保・育成 50
11. 製造業の現状 55
12. 自社独自の強み、アピールできる技術・技能・ノウハウ 56
13. 佐久市の今後の産業振興等について 62

【注】速報版であり、今後の精査によって数値が変動する可能性があります。

Ⅰ アンケート調査の概要

1. アンケート調査の目的

佐久市では、市の産業振興の方向性を示す「第三次佐久市産業振興ビジョン（計画期間：令和9年度～令和 18 年度）」の策定作業を行うため、佐久市内の事業者が抱えている経営上の課題や、佐久市で事業を行う上でのメリット・デメリット、現在の人材確保状況等の実態調査とともに、ご意見などを伺うことを目的とし、アンケート調査を実施した。

2. 調査の設計

(1)調査対象

商工団体（佐久商工会議所、臼田商工会、浅科商工会、佐久市望月商工会）に所属する会員および一般社団法人 佐久産業支援センター（以下、「SOIC」という。）会員企業等 500 社。

各商工団体等からの提供名簿から無作為抽出し、郵送によりアンケート調査票を発送、郵送またはWEB 形式にて回答を収集。

(2)調査期間

令和8年8月3日～令和8年8月 24 日

(3)有効回答

180 社（回答率 36.0%）

3. 注意事項

- 回答率は回答者数より算出した。
- 四捨五入の関係で回答率の合計が 100%にならない、また、本文中の数値と表の数値が合わない場合がある。
- グラフにおける（n=●●）の●●は回答者数。
- 一部、令和3年度及び平成 28 年度に実施したアンケート調査の結果と比較している箇所がある。

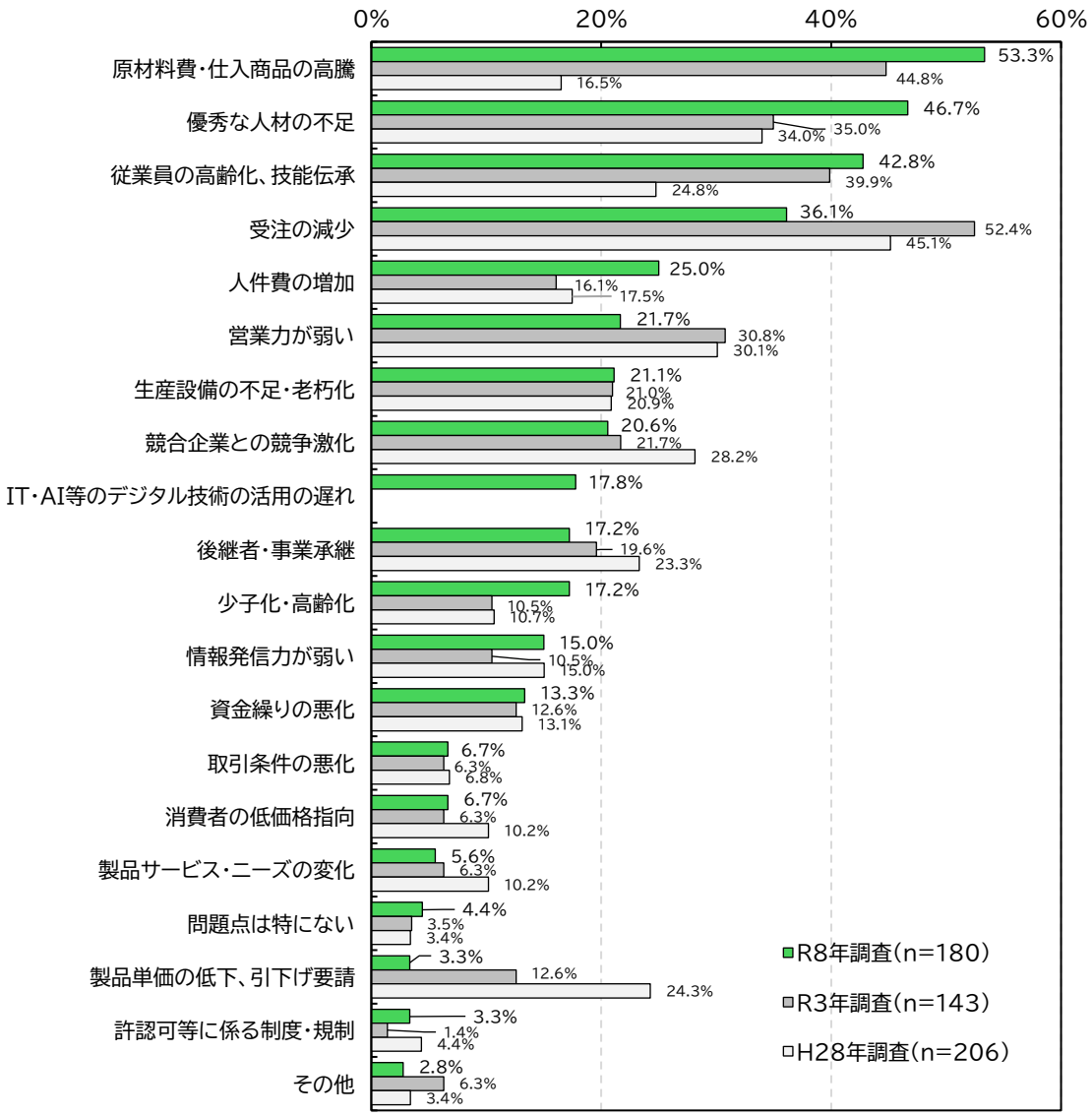
Ⅱ アンケート結果

■ 主なポイント

経営上の課題について

- 現在抱えている経営上の課題等は、「原材料費・仕入商品の高騰」（53.3%）が最も多く、次いで「優秀な人材の不足」（46.7%）、「従業員の高齢化、技能伝承」（42.8%）となった。
- 特に上位3つの課題は令和3年度調査から割合が増加しており、「原材料費・仕入商品の高騰」は 8.5 ポイント、「優秀な人材の不足」は 11.7 ポイント、「従業員の高齢化、技能伝承」は 2.9 ポイントの増加となった。

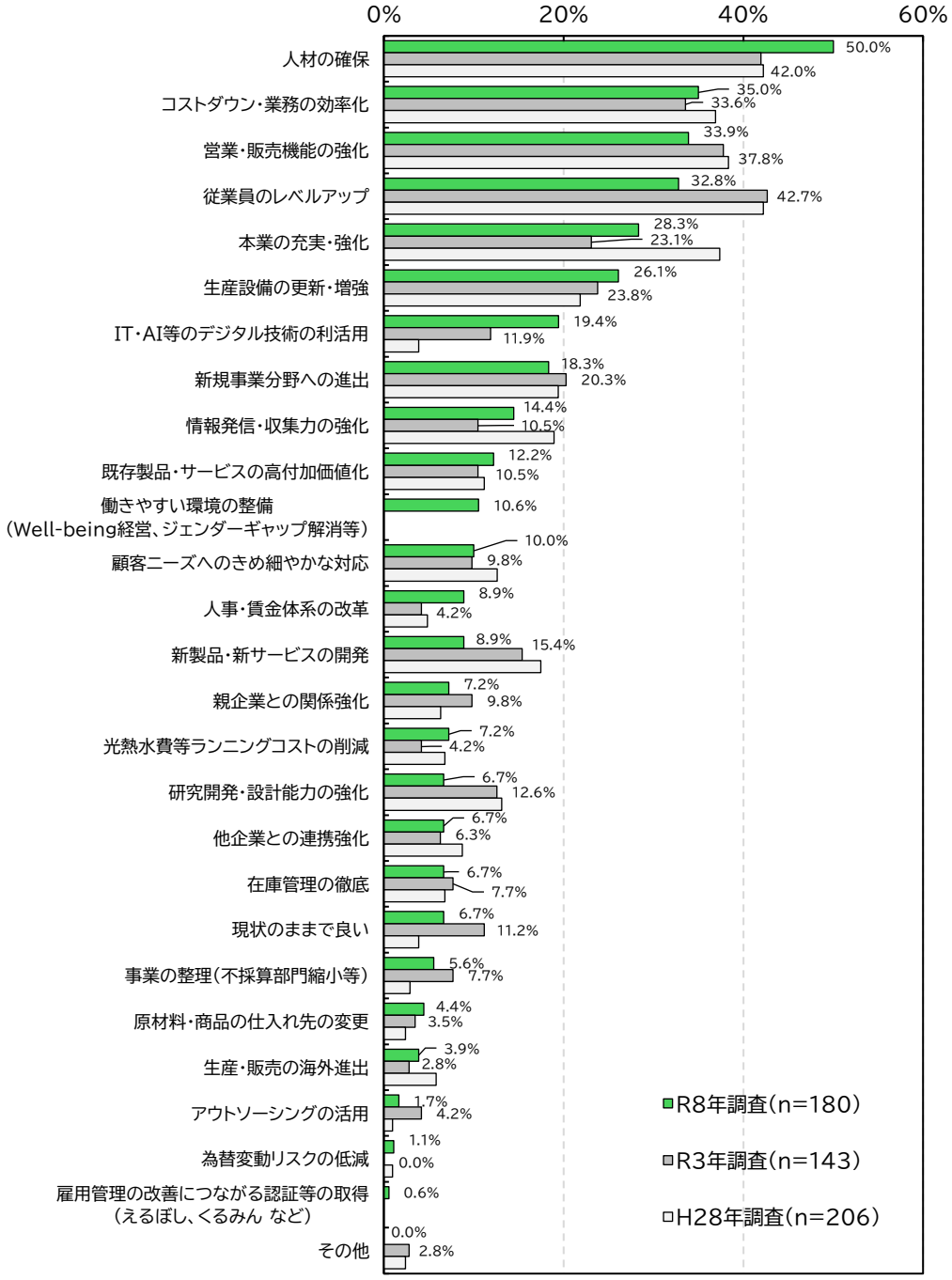
図表 6 現在抱えている経営上の課題等



（注）「IT・AI等のデジタル技術の活用の遅れ」は、R8年調査から新たに訊いた

- 今後強化したい点としては、「人材の確保」（50.0%）が最も多く、次いで「コストダウン・業務の効率化」（35.0%）、「営業・販売機能の強化」（33.9%）となった。
- 特に「人材の確保」は令和3年度調査から 8.0 ポイント増加しており、全設問の中で最も大きな増加となった。

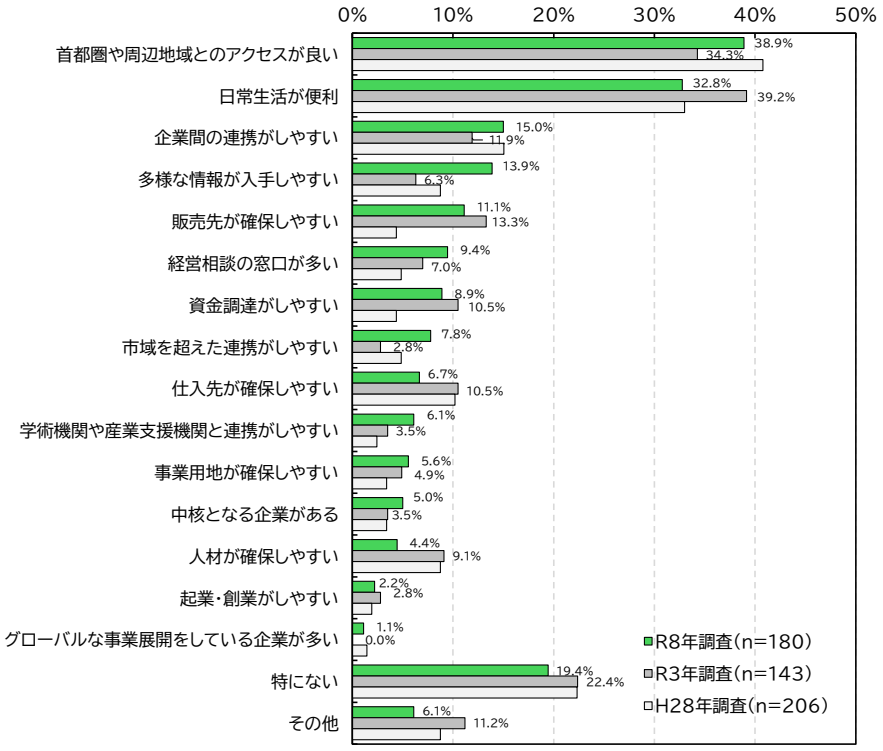
図表 7 今後強化したい点



（注1）「IT・AI等のデジタル技術の利活用」は、R3年及びH28年調査では「ITの利活用」として訊いた
（注2）「働きやすい環境の整備」、「雇用管理の改善につながる認証等の取得認証等の取得」は、R8年調査より新たに設けたもの

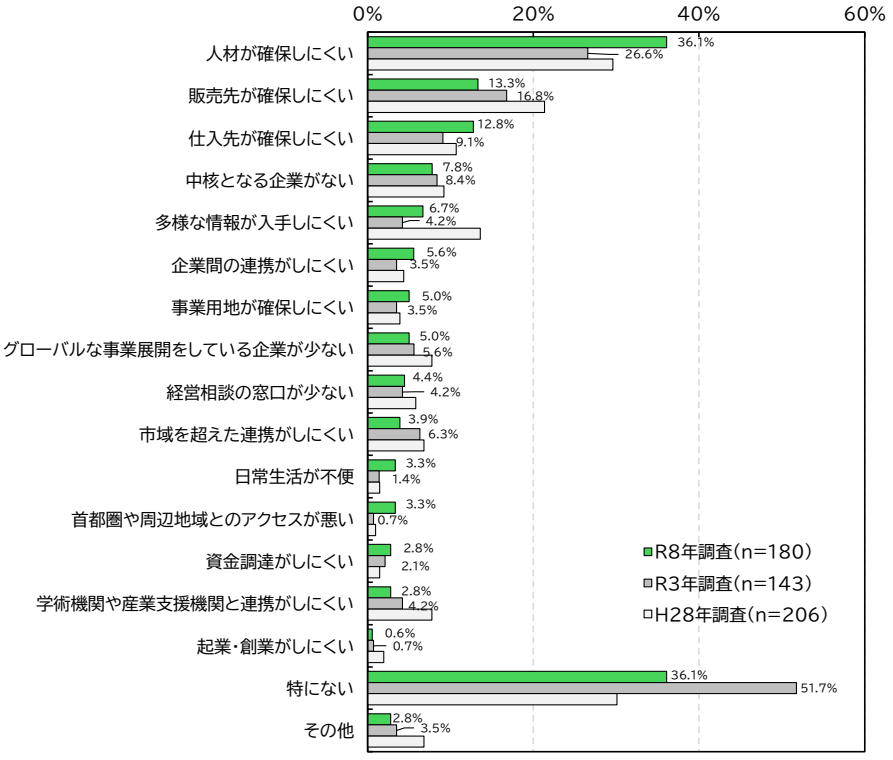
- 佐久市で事業を営む上でのメリットは、「首都圏や周辺地域とのアクセスが良い」が 38.9%と最も高く、次いで「日常生活が便利」が 32.8%となった。一方、約2割の企業は、「特にない」と回答した。

図表 8 佐久市で事業を営む上でのメリット



- 佐久市で事業を営む上でのデメリットは、「人材が確保しにくい」が 36.1%と最も高く、次いで「販売先が確保しにくい」が 13.3%、「仕入先が確保しにくい」が 12.8%となった。
- 特に「人材が確保しにくい」は、令和3年度調査から 9.5 ポイントの増加となった。多くの企業が人材の確保を必要と考えている中、実際には思うように人材を確保できていない状況がうかがえる。

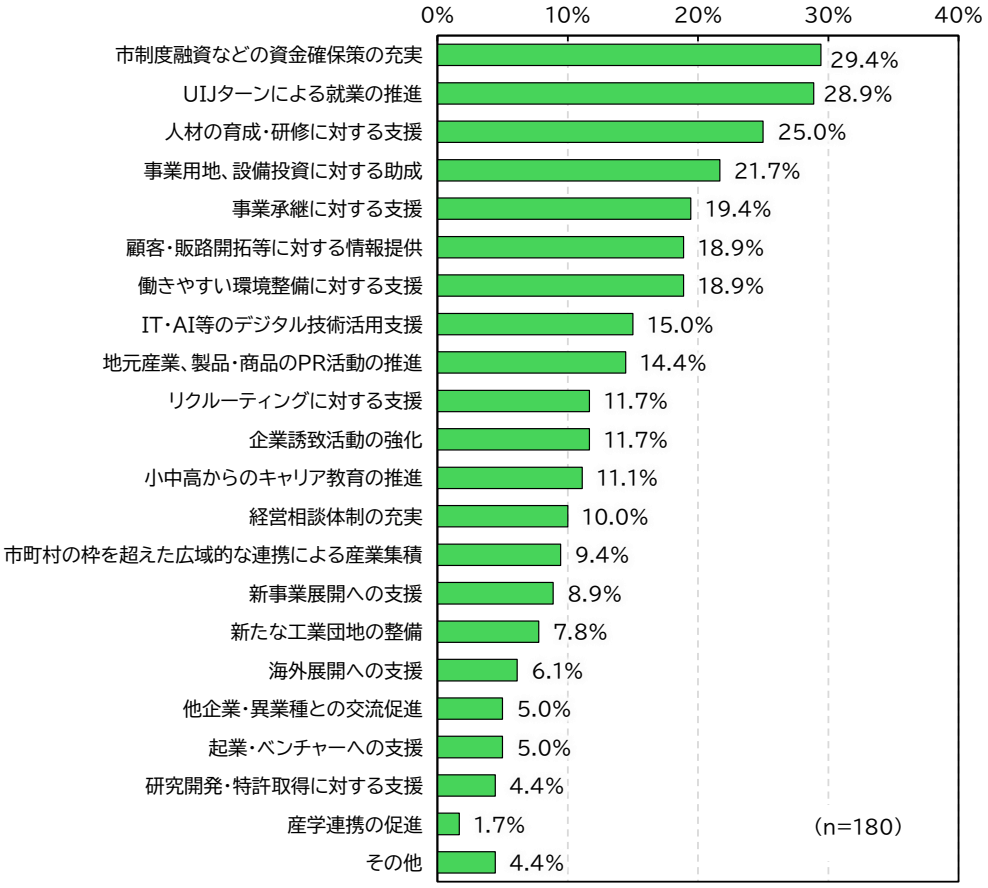
図表 9 佐久市で事業を営む上でのデメリット



希望する公的支援について

- 佐久市の産業が今後活性化していくために重要と思われる施策は、「市制度融資などの資金確保策の充実」(29.4%)が最も高く、次いで「UIJ ターンによる就業の推進」(28.9%)、「人材の育成・研修に対する支援」(25.0%)となった。

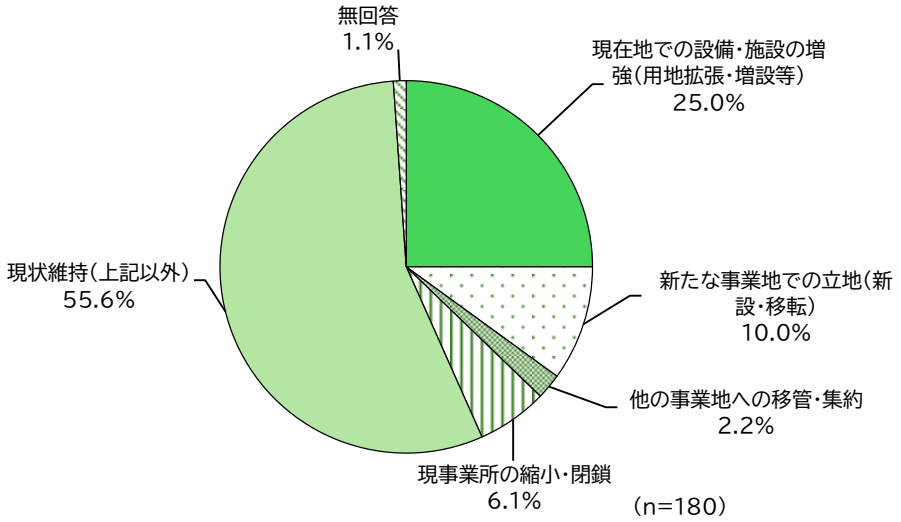
図表 10 佐久市の産業が今後活性化していくために、重点的に進めていくべき公的施策



事業所等の立地(新設・移転・増設・縮小等)の意向について

- 今後の設備・施設について、どのような展開・対応を想定しているかという問に対して、「現状維持」が 55.6%と最も高くなり、次いで「現在地での設備・施設の増強(用地拡張・増設等)」(25.0%)、「新たな事業地での立地(新設・移転)」(10.0%)となった。

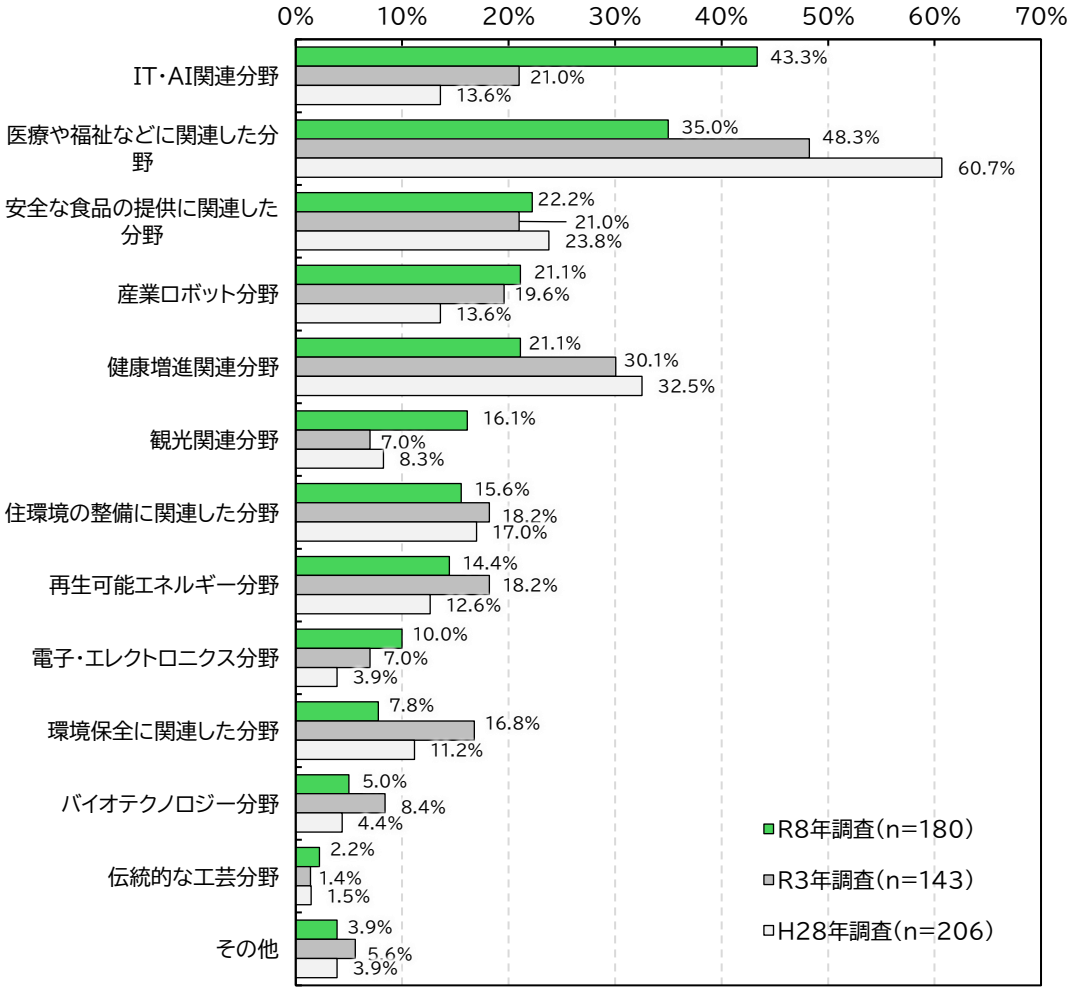
図表 11 今後の設備・施設について、想定している展開・対応



これからの成長分野と、佐久の地域特性が活かせる分野について

- これから伸びると考える分野は、「IT・AI 関連分野」が 43.3%と最も高く、多くの企業が伸びる分野と考えている。
- 次いで「医療や福祉などに関連した分野」が 35.0%、「安全な食品の提供に関連した分野」が 22.2%となっている。

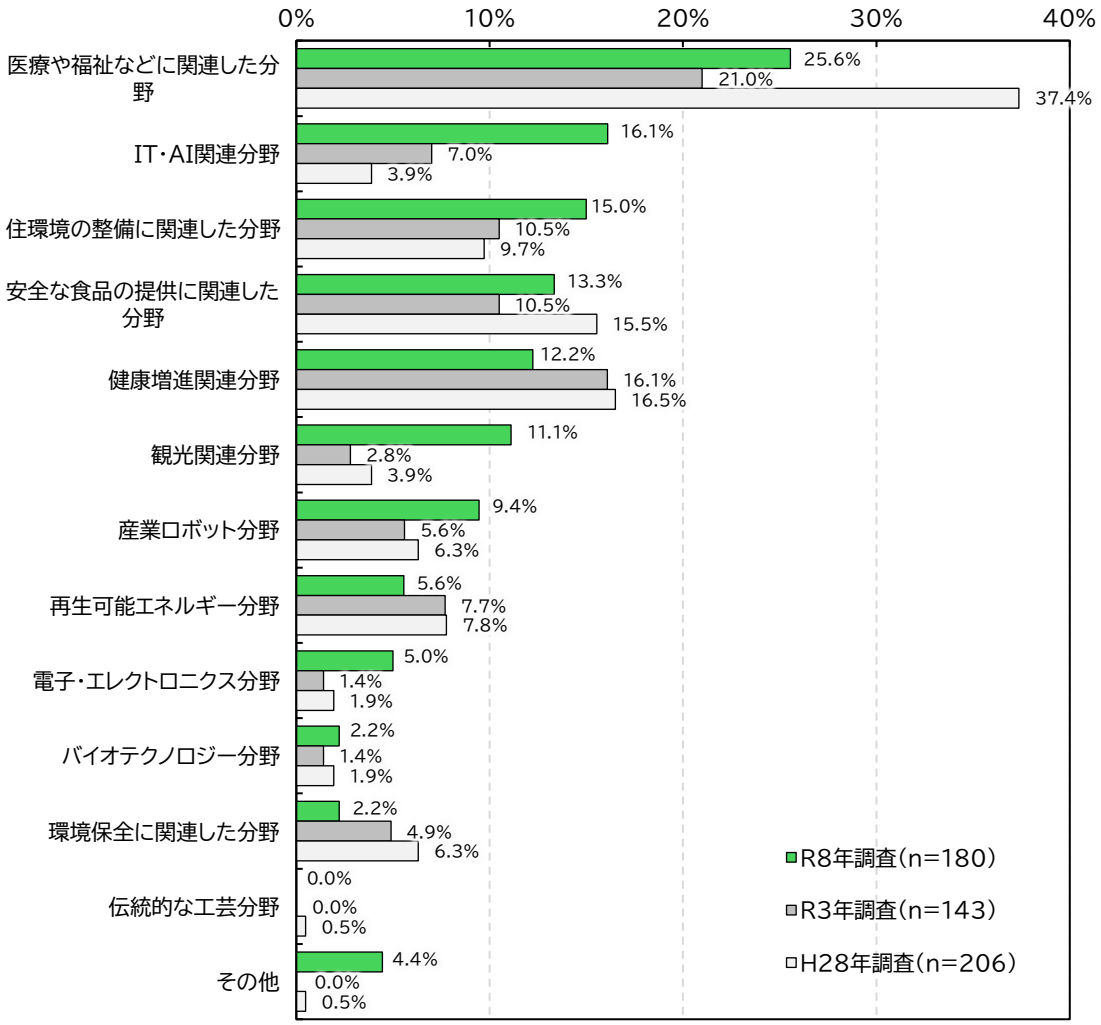
図表 16 これから伸びる分野



(注)「IT・AI関連分野」は、R3年及びH28年調査では「IT関連分野」として訊いた

- 佐久市の地域特性を活かせる分野は、「医療や福祉などに関連した分野」が 25.6%と最も高く、次いで「IT・AI 関連分野」が 16.1%、「住環境の整備に関連した分野」が 15.0%となっている。

図表 17 佐久市の地域特性が活かせると思われる分野

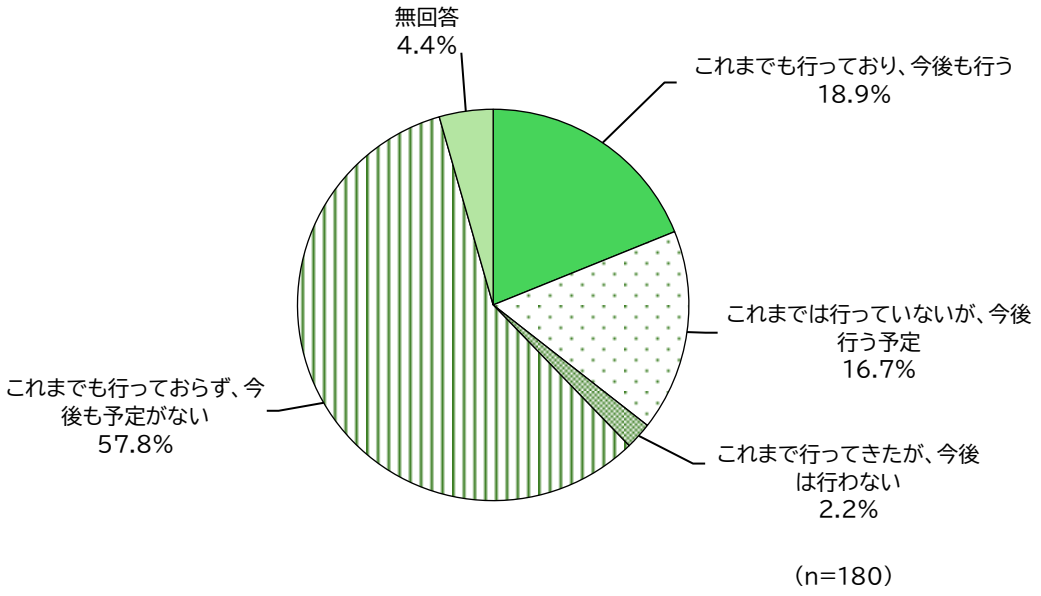


(注)「IT・AI関連分野」は、R3年及びH28年調査では「IT関連分野」として訊いた

産学官連携・企業間連携について

- 産学官連携や企業間連携による事業展開の状況は、約6割の企業が「これまでも行っておらず、今後も予定がない」と回答した。
- 一方、「これまでも行っており、今後も行う」が 18.9%、「これまでは行っていないが、今後行う予定」が 16.7%と、合わせて3割を超える企業が連携に前向きである。

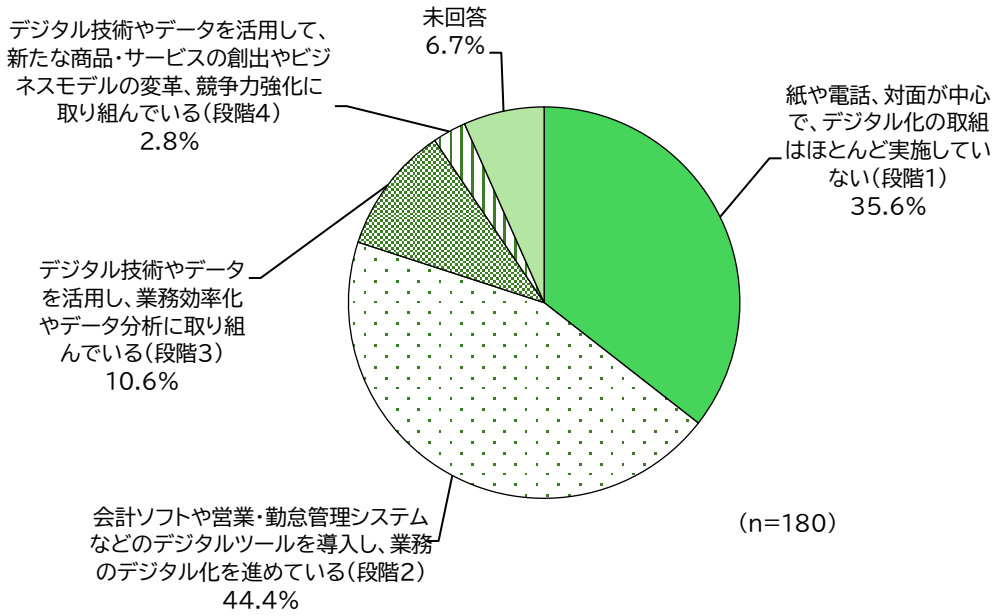
図表 19 産学官連携や企業間連携による事業展開の状況



デジタル化や DX、AI の導入状況について

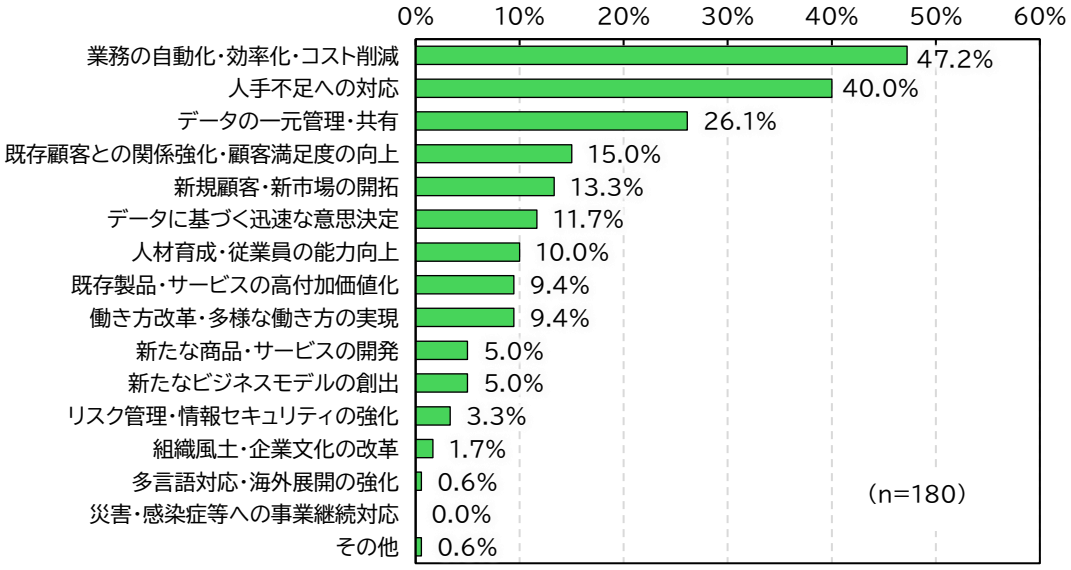
- デジタル化や DX に向けた現在の取組状況について、「会計ソフトや営業・勤怠管理システムなどのデジタルツールを導入し、業務のデジタル化を進めている(段階2)」が 44.4%と最も高く、次いで「紙や電話、対面が中心で、デジタル化の取組はほとんど実施していない(段階1)」(35.6%)、「デジタル技術やデータを活用し、業務効率化やデータ分析に取り組んでいる(段階 3)」(10.6%)となった。

図表 24 デジタル化や DX に向けた現在の取組状況



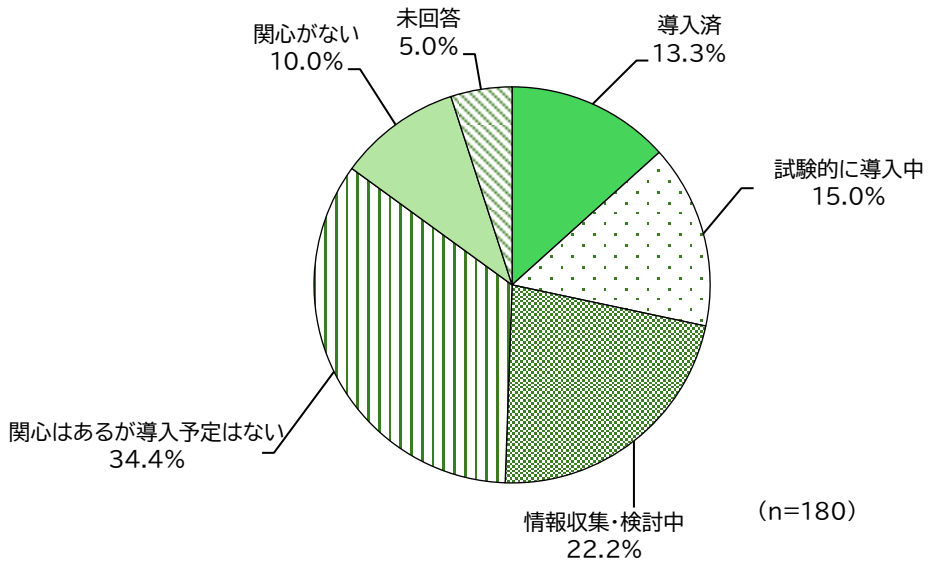
- デジタル化や DX に期待する成果・効果として、「業務の自動化・効率化・コスト削減」(47.2%)が最も高く、次いで「人手不足への対応」(40.0%)、「データの一元管理・共有」(26.1%)となった。

図表 25 デジタル化や DX に期待する成果・効果



- AI の活用状況については、「関心はあるが導入予定はない」(34.4%)が最も高く、次いで「情報収集・検討中」(22.2%)、「試験的に導入中」(15.0%)となった。AI 活用への関心の高まりがうかがえる。

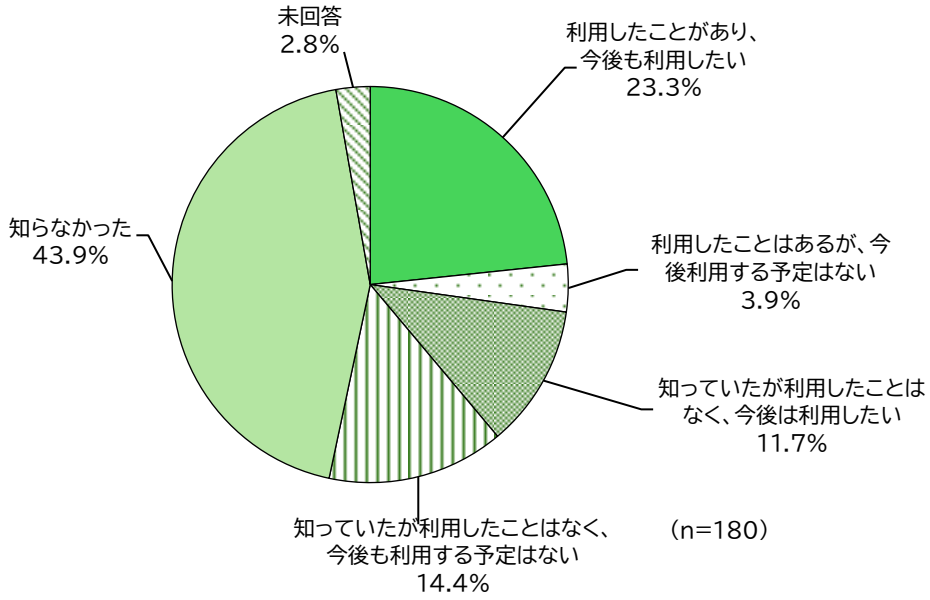
図表 26 AI の活用状況



佐久産業支援センター(SOIC)について

- 既に利用したことがある企業も含めて、53.3%の企業が SOIC を認知していた。
- 一方で、43.9%の企業が「知らなかった」と回答しており、SOIC の知名度向上や利用促進のために、引き続き情報発信に努めていく必要がある。

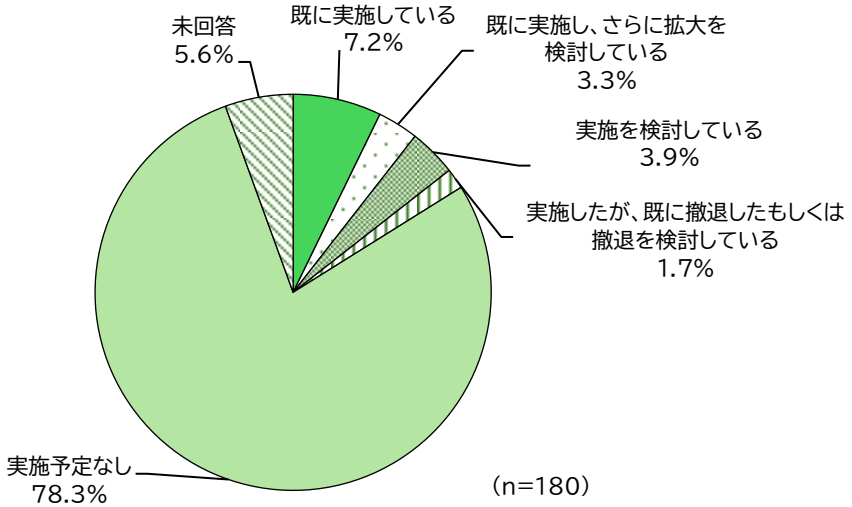
図表 29 佐久産業支援センター(SOIC)について



海外事業展開について

- 「実施予定なし」が 78.3%と高い。また、「既に実施し、さらに拡大を検討している」(3.3%)と「実施を検討している」(3.9%)の合計は7%程度と、海外への事業展開に前向きな企業は少ない。

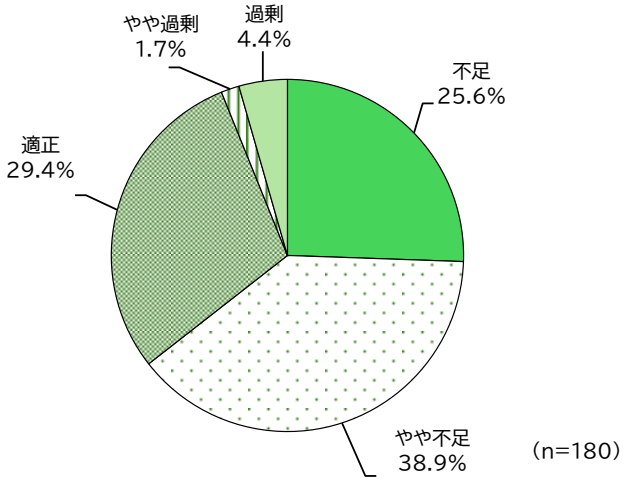
図表 31 海外での事業の展開・実施



人材の確保・育成について

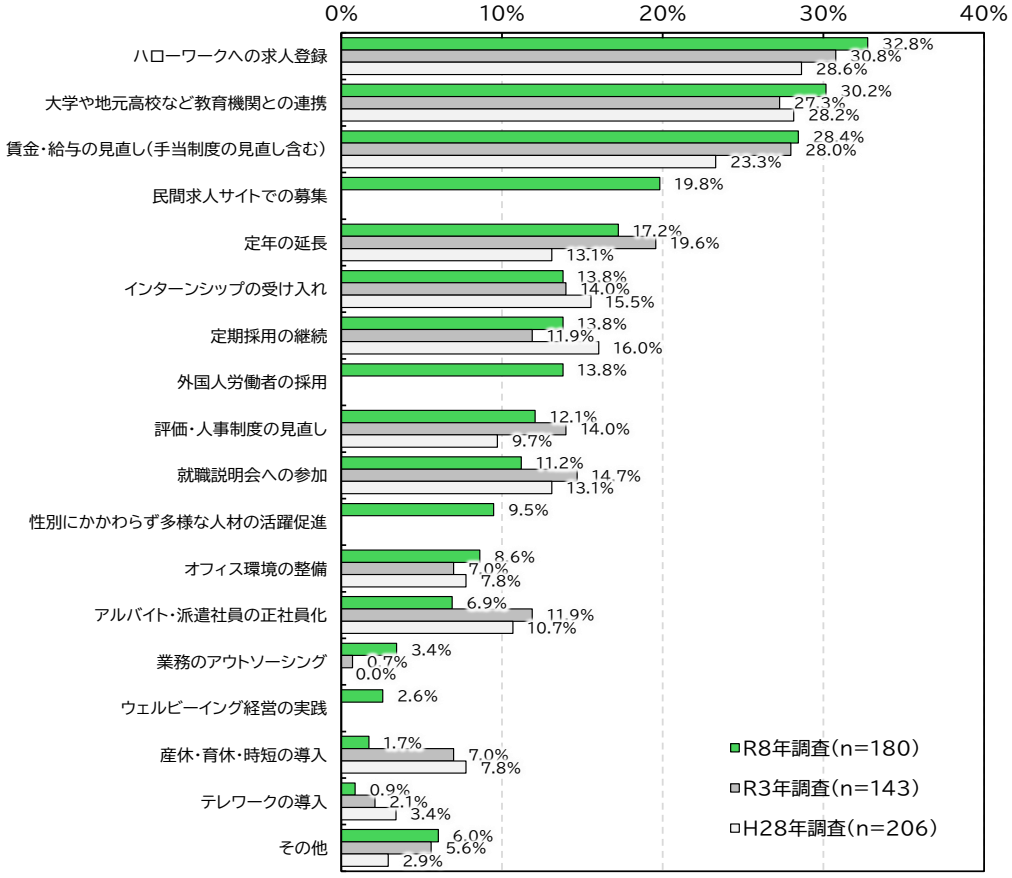
- 労働力の過不足感について、「適正」が 29.4%に留まった一方で、「不足」と「やや不足」の割合を合計すると、人手不足を感じている企業は 64.5%となった。

図表 35 労働力の過不足感



- 人材の確保のために重要なことは、「ハローワークへの求人登録」が 32.8%と最も高く、次いで「大学や地元高校など教育機関との連携」(30.2%)、「賃金・給与の見直し(手当制度の見直し含む)」(28.4%)となっている。
- 令和3年度調査と比較すると、「ハローワークへの求人登録」が 2.0 ポイント、「大学や地元高校など教育機関との連携」が 2.9 ポイント、「賃金・給与の見直し(手当制度の見直し含む)」が 0.4 ポイントの増加となった。

図表 38 人材の確保について、今後、重要と思われること



(注)「民間求人サイトでの募集」、「外国人労働者の採用」、「性別にかかわらず多様な人材の活躍促進 」、「ウェルビーイング経営の実践」は、R8年調査から新たに訊いた

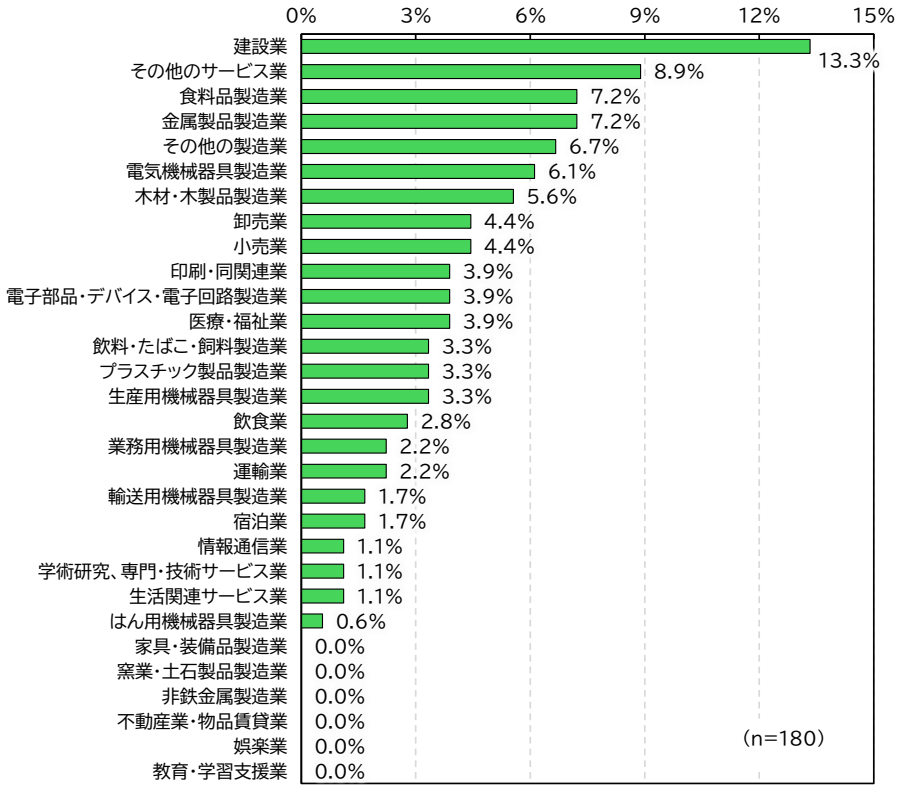
アンケート調査結果
(全文)

1. 事業概要

(1)属性

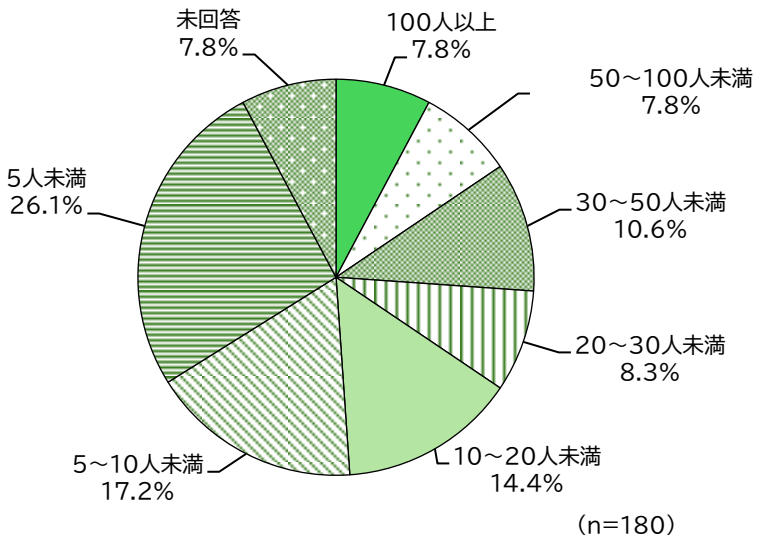
ア. 業種

図表 1 該当する業種



イ. 従業員数

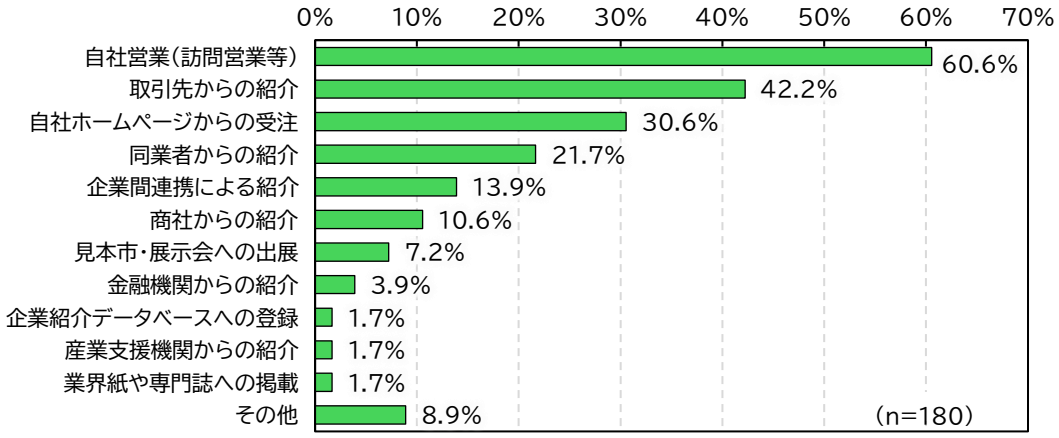
図表 2 従業員数



(2)取引先や販路の開拓方法

問３ 貴社の取引先や販路の開拓方法について教えてください。(当てはまるもの3つまで○)

図表 ３ 取引先や販路の開拓方法



【その他の記述回答】

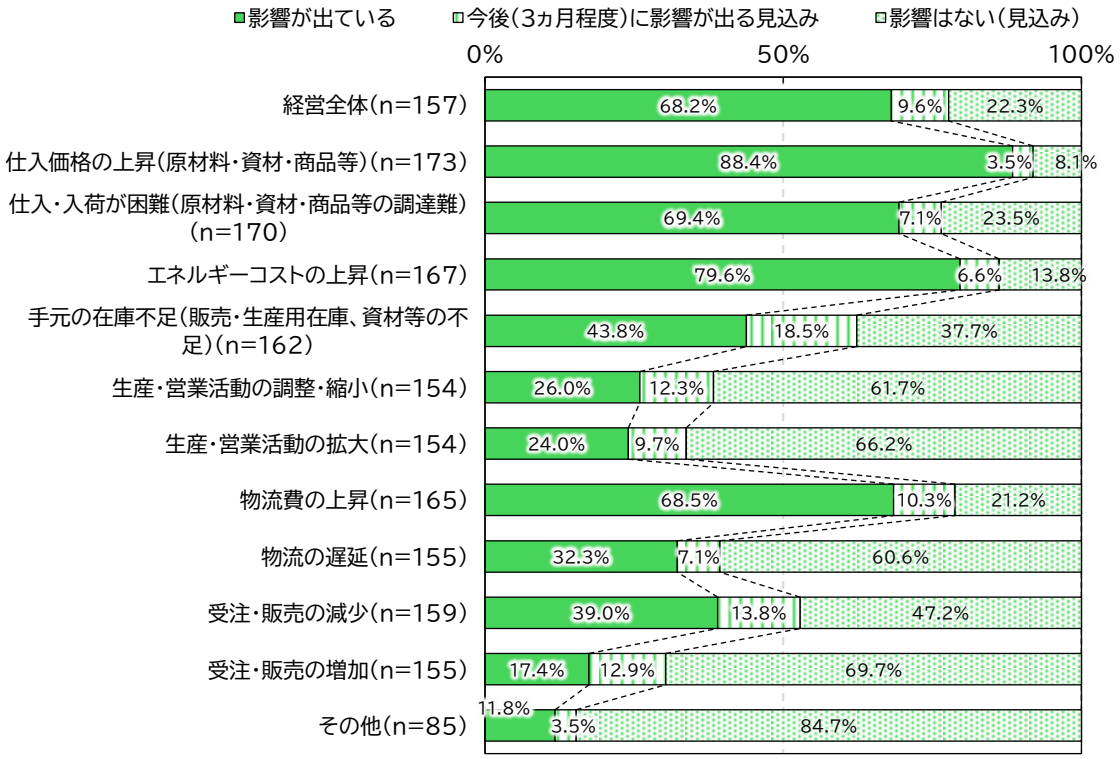
- FB 等の活用
- 先方(相手先)からの取引依頼
- 商工会議所
- 新聞折り込み広告、SNS
- パンフレット送付 3,000 部
- ネット予約、TEL 予約
- 主として親会社への販売
- 顧客からの紹介
- 市町村からの措置
- EC サイト
- ケアマネジャーからの受注、施設からの受注
- 口コミ

(3)中東情勢の影響

問４　中東情勢の影響について

(1) 中東情勢の緊迫化や混乱に伴う貴社への影響(①～⑫の項目)について、「1. 影響が出ている」 「2. 今後(3ヵ月程度)に影響が出る見込み」 「3. 影響はない(見込み)」のいずれかの番号を、それぞれご記入ください。

図表 ４　中東情勢の緊迫化や混乱に伴う影響

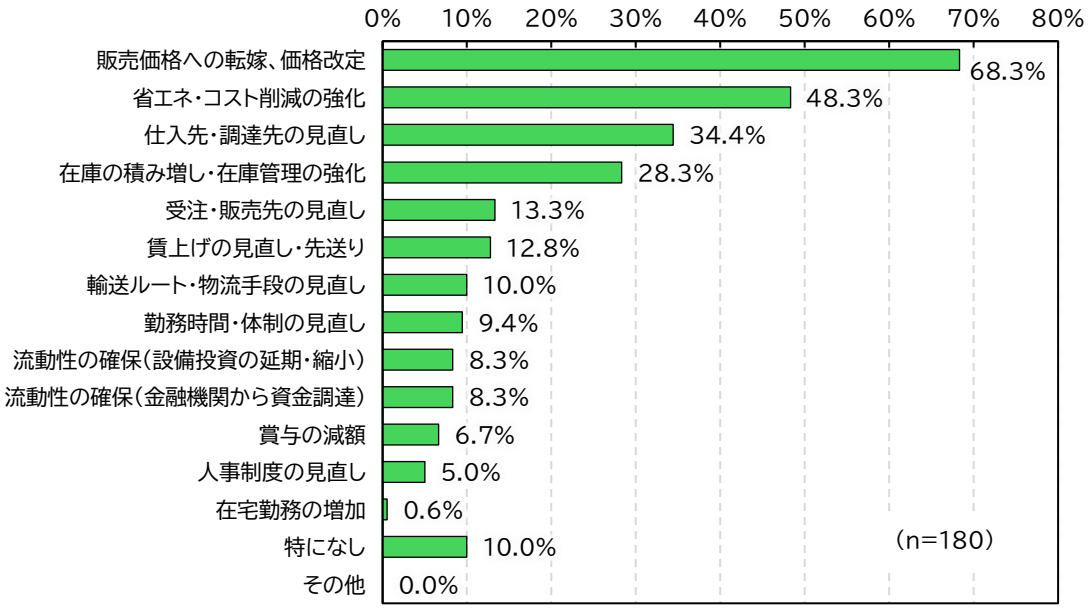


【その他の記述回答】

- 取引先が影響することにより当社への影響が生まれる
- シンナーや塗料、マスキングテープなどの資材の納期がかかる場合がある
- 値上げの影響
- オイル、塗料、タイヤ等の値上がり、調達の遅れ
- 中東情勢悪化による燃料費の増加
- 諸々の経費の上昇
- 印刷物などの納期が延びている
- 容器の廃盤が多くなった
- 塗料関連の仕入れ先の納期遅延
- 流入人口数の減少
- 塗料の不足

（2）中東情勢への対応策について、現在実施中・今後検討予定のものについて教えてください。
（当てはまるもの5つまで○）

図表 5 中東情勢への対応策について、現在実施中・今後検討予定のもの



（3）中東情勢における行政の対応や支援策に対して、意見や要望を教えてください。（自由記述）

- 緊急時に雇用調整助成金などの支援の実施、今からやっても仕方がない。（建設業）
- 原油価格や建材価格の高騰は中小事業者の経営を圧迫している。資材価格の上昇に対する支援や、資金繰り支援、補助金制度の充実をお願いしたい。（建設業）
- 公共工事に関しては、設計変更で対応してほしい。（建設業）
- すでに物価上昇対策の融資で利息補完を受けて非常に助かっている。弊社の場合、価格に添加できているものの難しい企業もあるので、その辺りをサポートしてほしい。（食料品製造業）
- 現在資材は注文出来る量が昨年の実績以上は注文が不可能な状況なので、これからの繁忙期 12 月から 3 月に向けての商品開発のためにも、いつ頃ナフサが潤沢になるのかなどを明確にしてほしい。もしくは予定などがあればそれも含めて知らせてもらいたい。（食料品製造業）
- ガソリンの入荷先確保など引き続き対応をお願いしたい。（飲料・たばこ・飼料製造業）
- 物流及び資材不足の是正措置（木材・木製品製造業）
- 納期設定もしくは業者決定の調整で発注から納期までの日数を確保して欲しい（印刷・同関連業）
- 幅広い業界に影響を及ぼしている。燃料費、原材料費、エネルギー費、物流コストが高騰し、収益を圧迫。その結果、商品価格へと転嫁され、消費者の購買意欲の低下を招いている。（印刷・同関連業）
- 助成金、補助金の類があると良い。（プラスチック製品製造業）
- 補助金制度の拡充および金融支援体制の強化（プラスチック製品製造業）
- 材料費に対する補助金支援（金属製品製造業）
- 仕事の量による差があり、人材が足りるときもある　また忙しくなり人材が足りなくなる時もある軽作業において企業間連携で人の貸し借りの窓口等を企画し必要に応じて対応してくれるような仕組みを望む。（金属製品製造業）
- 価格高騰に対する利子補給をお願いしたい。（生産用機械器具製造業）
- 流動性の支援、一時支援等の援助、支援制度の確立（生産用機械器具製造業）
- とにかく戦争を早く終わらせるよう、政府がアメリカに働きかけてほしい。（業務用機械器具製造業）
- アメリカの暴挙に沈黙の政府のあり方に大きな不満がある　日本政府の正義感の欠如はアメリカと同等　（電気機械器具製造業）
- レアアース、原油代替ルート確保（輸送用機械器具製造業）
- アメリカに追随しない。日本独自の原油仕入れルートを確立してほしい。（その他の製造業）
- 材料の値上り（石油製品）が多いので原油の調整（その他の製造業）
- 中東情勢が今後の仕入、仕入金額の予測が出来ない不透明さに困っている。（その他の製造業）
- 国土交通省へ現状をメールした所、対応は遅かったが、対応してくれた事に感動した。（運輸業）
- 燃料価格高騰への継続的な支援、中小物流事業者への資金繰り支援、適正な価格転嫁を促進するための環境整備（運輸業）
- 川上−川下に対してのコストアップに対しての支援策は一部であるが、川中の卸売業者に対しての支援策が無い。市場手数料の見直しを図るべき。（卸売業）
- 中東情勢における融資の利子補給の拡大希望。（卸売業）
- 機械類で使用するオイルの入手が困難であり、今後の不安がつきない。（小売業）
- 販売先によっては、価格の値上がりに年契だと難色を示されてしまい困っている。（赤売りになるので困る）（小売業）
- 早くやめてもらわないと仕入が少なくなり値上りしている。（飲食業）
- 地政学的リスクに対して補助金等の支援をありがたく思う。弊社でも燃料費補助の申請をした（医

療・福祉業）

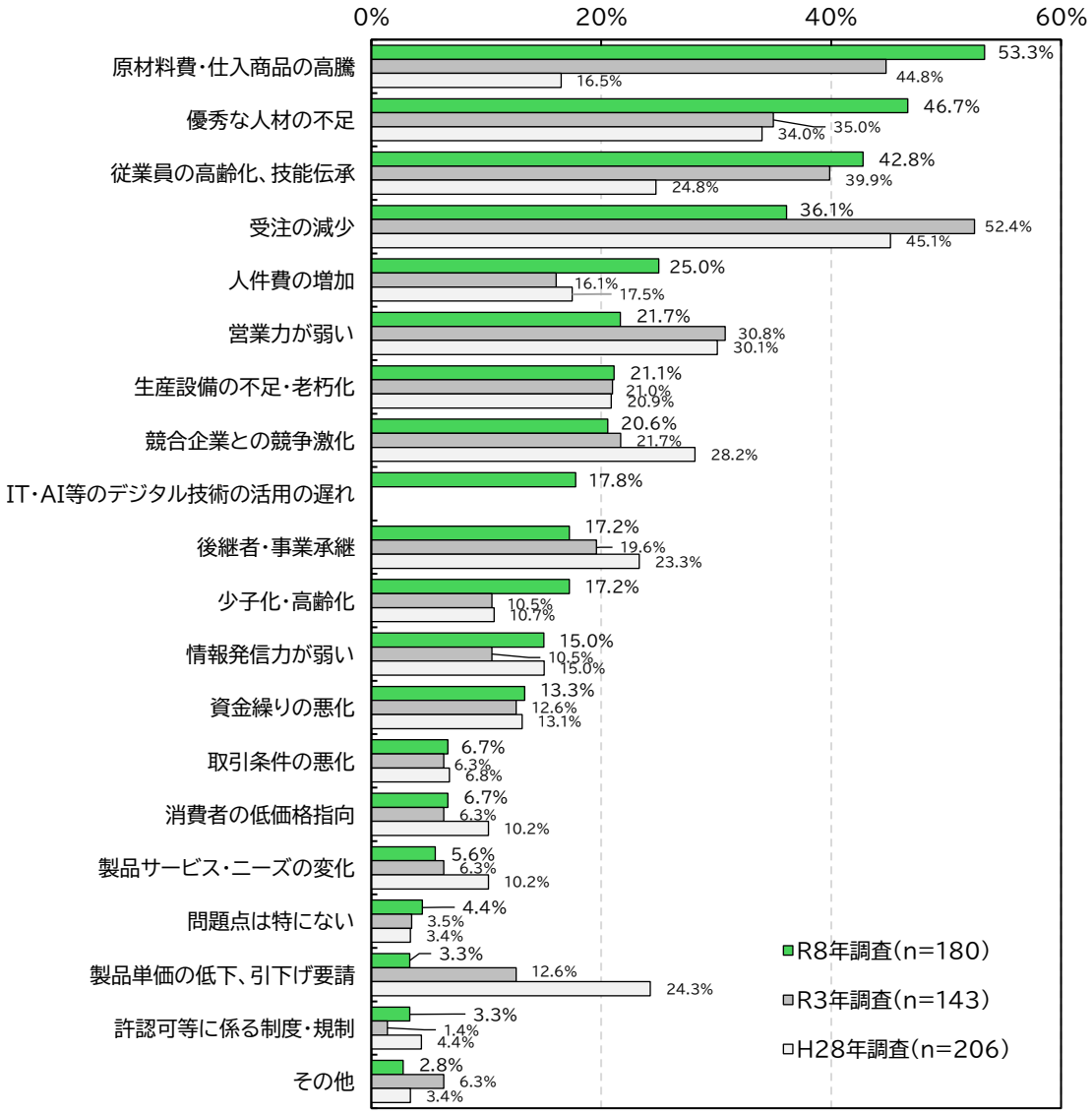
- 調剤に使用する薬袋・分包紙・投薬瓶などの石油由来樹脂製品の価格が上昇しており、一部の規格では入手も困難になっている。発注から納品までに時間を要し、代替品への切り替えを余儀なくされる場面がある。また、ガソリン価格の高騰により、在宅患者宅への医薬品配送や施設訪問にかかる燃料費が増加し、配送コストが経営を圧迫している。調剤報酬は公定価格であるため、これらのコスト増を価格に転嫁できないことが最大の課題。 燃料費・資材費の高騰分に対する補助や、在宅医療にかかる配送コストへの支援を希望する。（医療・福祉業）
- 行政からの対応や支援策は全く無い。それどころか現状の問い合わせすら無い。（その他のサービス業）
- 正確な情報の開示（その他のサービス業）

2. 経営上の課題

(1)現在抱えている経営上の課題等

問５　貴社が現在抱えている経営上の課題等について教えてください。(当てはまるもの5つまで○)

図表 6 現在抱えている経営上の課題等



(注)「IT・AI等のデジタル技術の活用の遅れ」は、R8年調査から新たに訊いた

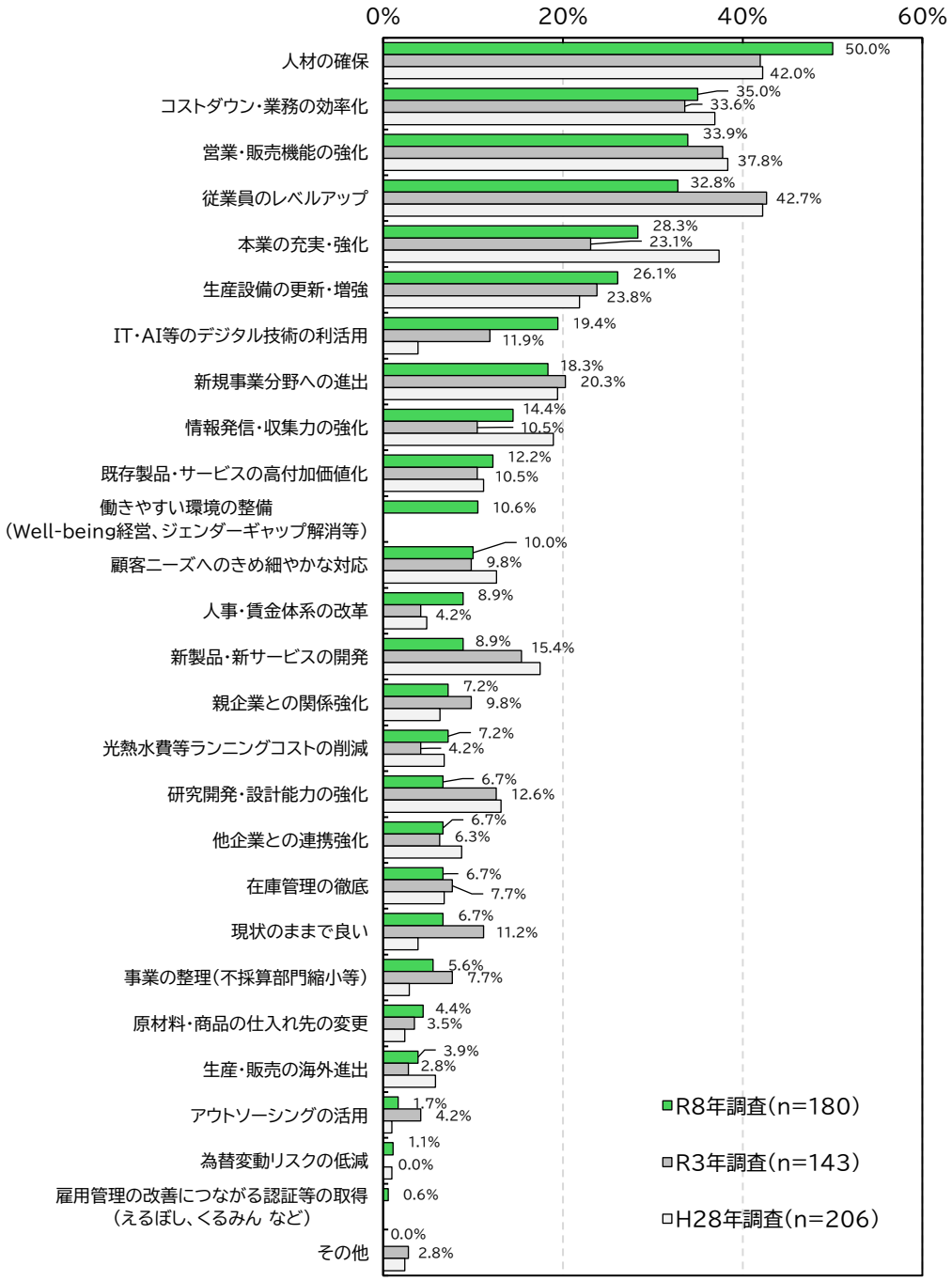
【その他の記述回答】

- 店舗の老朽化
- 外注費の増加
- 省人化設備への対応
- 採用

(2)今後強化したい点

問６　貴社が今後強化したい点について教えてください。(当てはまるもの5つまで○)

図表 7　今後強化したい点



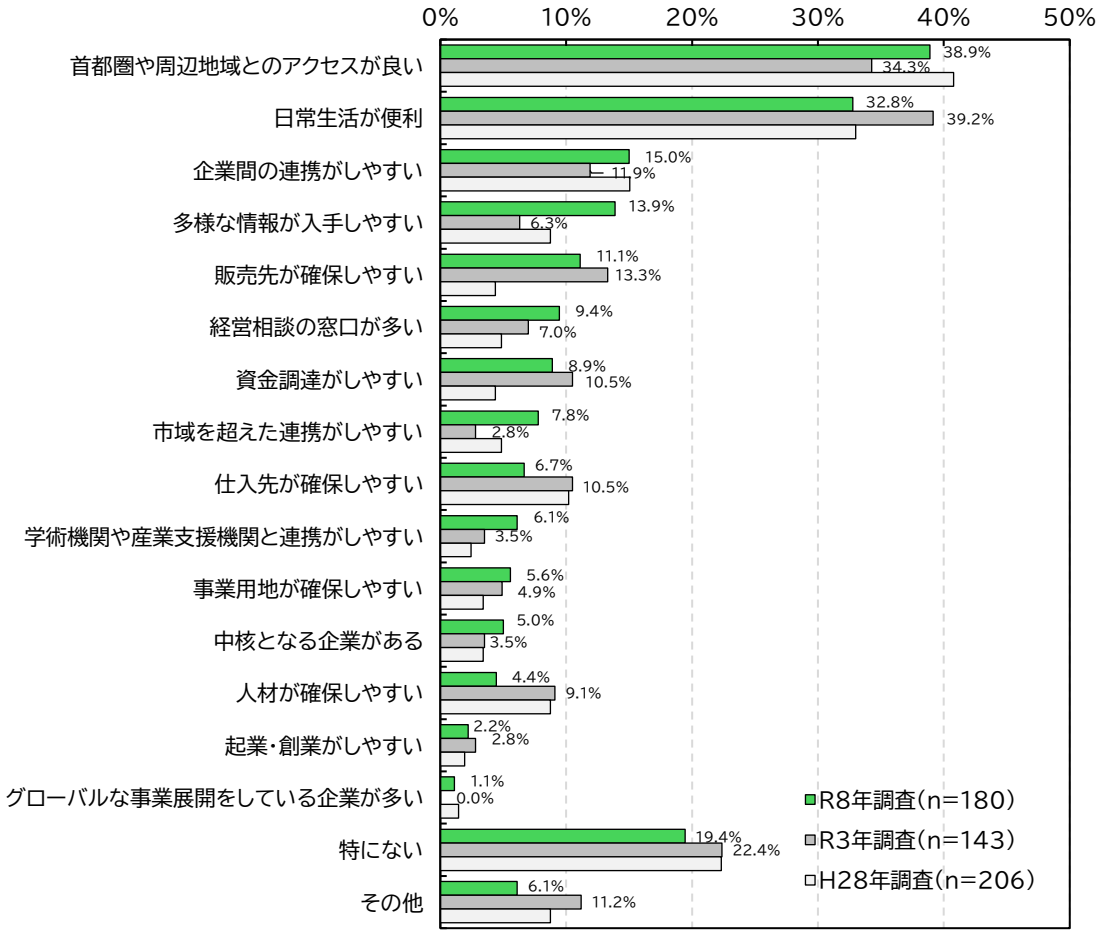
(注1)「IT・AI等のデジタル技術の利活用」は、R3年及びH28年調査では「ITの利活用」として訊いた
(注2)「働きやすい環境の整備」、「雇用管理の改善につながる認証等の取得認証等の取得」は、R8年調査より新たに設けたもの

(3)佐久市で事業を営む上でのメリット・デメリット

問７　佐久市で事業を営む上でのメリット・デメリットについて

（1）貴社が佐久市で事業を営む上でのメリットについて教えてください。(当てはまるもの5つまで○)

図表 8　佐久市で事業を営む上でのメリット

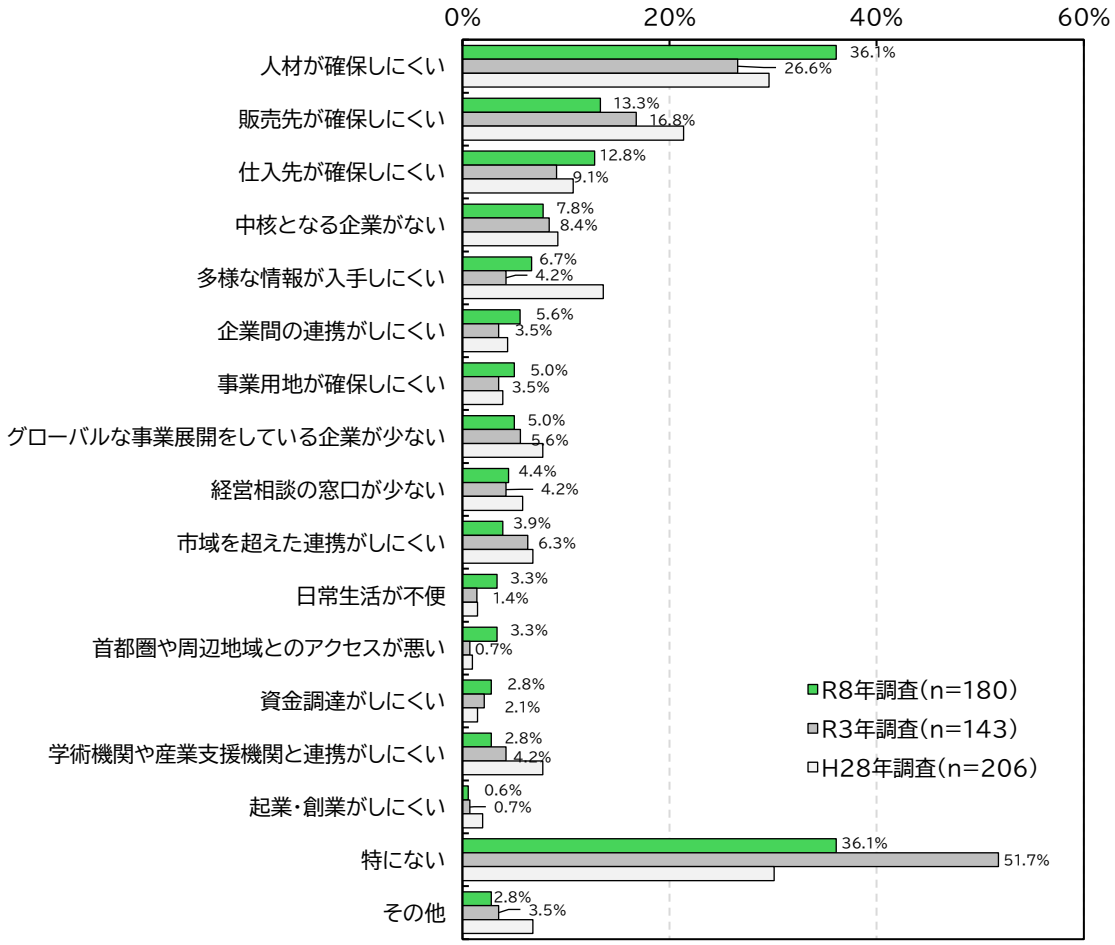


【その他の記述回答】

- 人口増加の期待がある
- 環境が良い（自然）
- 佐久市の酒蔵でいられる事自体メリット
- 冷涼な気候による高品質な農作物が集荷できる
- 取引先が佐久穂町のため
- 市内の他にも軽井沢、蓼科等の市場が大きい
- 佐久市との連携
- 自治体の支援が期待できる
- 移住希望者が多い
- 気候が良い、災害が少ない
- 補助金が比較的充実している

（2）貴社が佐久市で事業を営む上でのデメリットについて教えてください。（当てはまるもの5つまで○）

図表 9 佐久市で事業を営む上でのデメリット



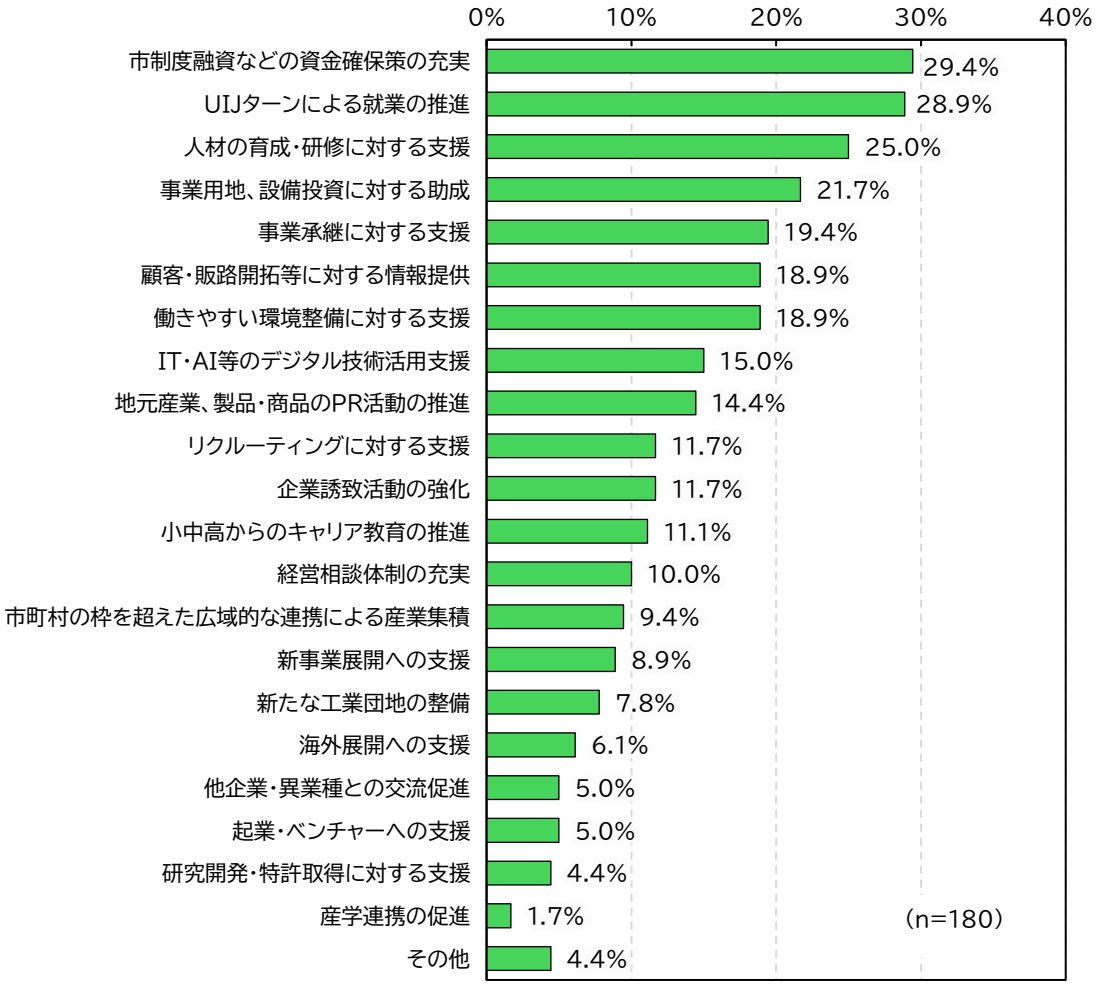
【その他の記述回答】

- 商圏人口の少なさ
- 厳寒期の農作物が少ないことによる集荷不足
- 佐久の郊外（春日温泉）で事業をするため、市街地へのアクセスが悪い。またお客様のアクセスが悪い

3. 希望する公的支援

問８ 佐久市の産業が今後活性化していくためには、どのような公的施策を重点的に進めていくべきとお考えですか。(当てはまるもの5つまで○)

図表 10 佐久市の産業が今後活性化していくために、重点的に進めていくべき公的施策



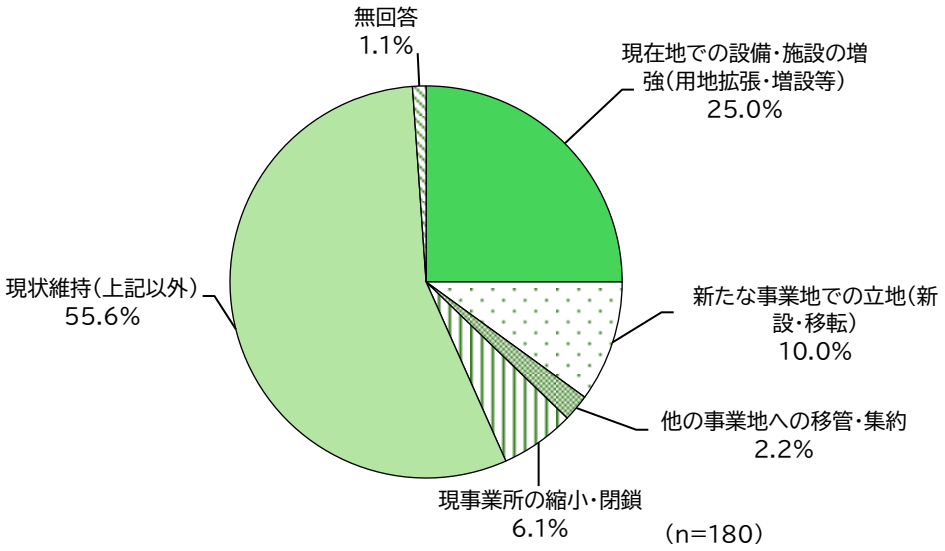
【その他の記述回答】

- 移住促進
- 公共交通機関の充実、道路整備
- 地の利を活かして佐久南 IC を中心に一大物流拠点を創設
- 外国人労働者確保時の支援
- 産業を活性化するために公的施策が有効であるとは思えない
- 中部横断自動車道の全線開通を促進して、佐久市内にハブの役割が出来る物流センターを誘致
- 減税
- 人もその場に住む、農業誘致の整備

4. 事業所等の立地(新設・移転・増設・縮小等)の意向

問９　貴社では今後の設備・施設について、どのような展開・対応を想定されていますか。(1つに○)

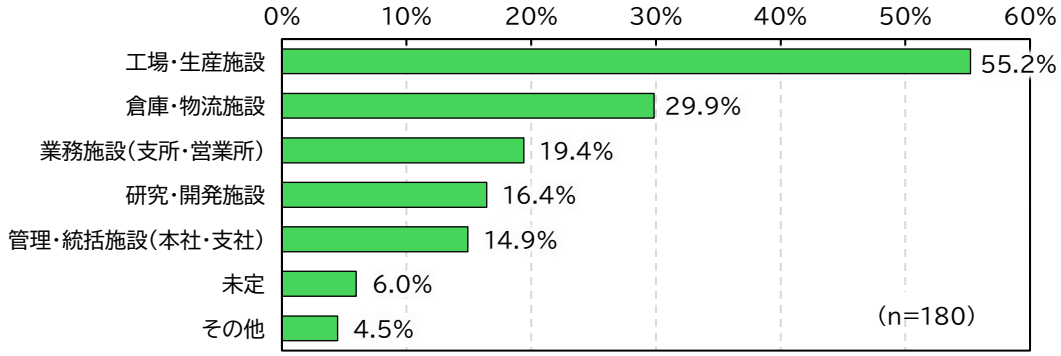
図表 11　今後の設備・施設について、想定している展開・対応



問10　問９で「1」～「3」を回答した方のみ

(1) どのような立地施設を想定されていますか。(当てはまるものすべてに○)

図表 12　想定している立地施設

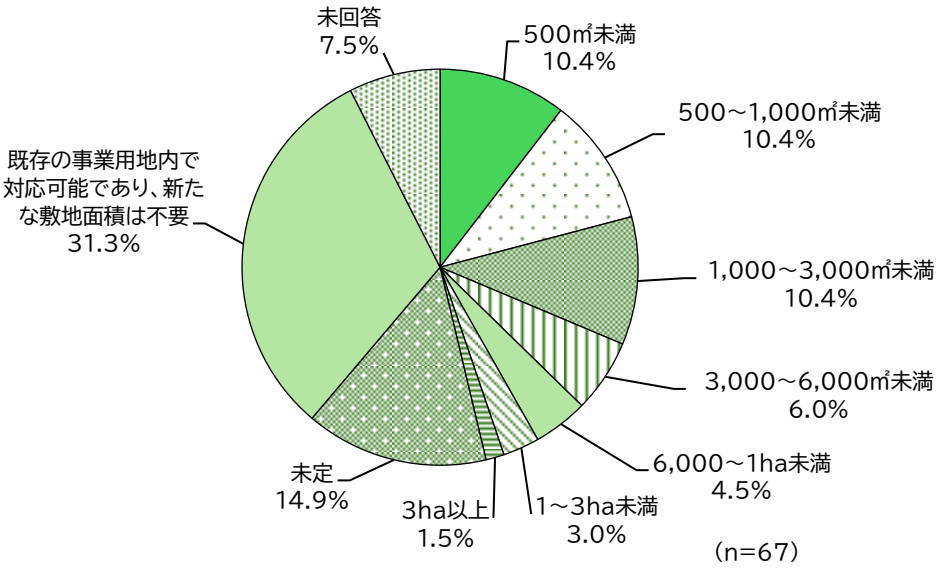


【その他の記述回答】

- 医療機器等の整備

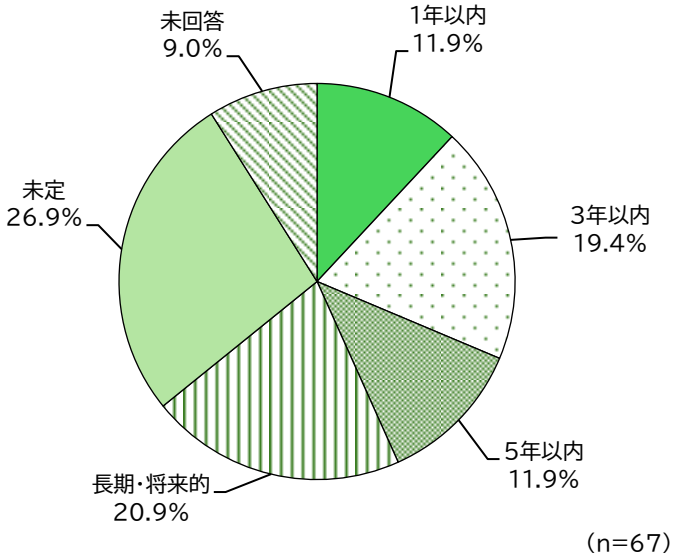
（2）どの程度の敷地面積が新たに必要になると想定されますか。(1つに○)

図表 13 新たに必要になる敷地面積



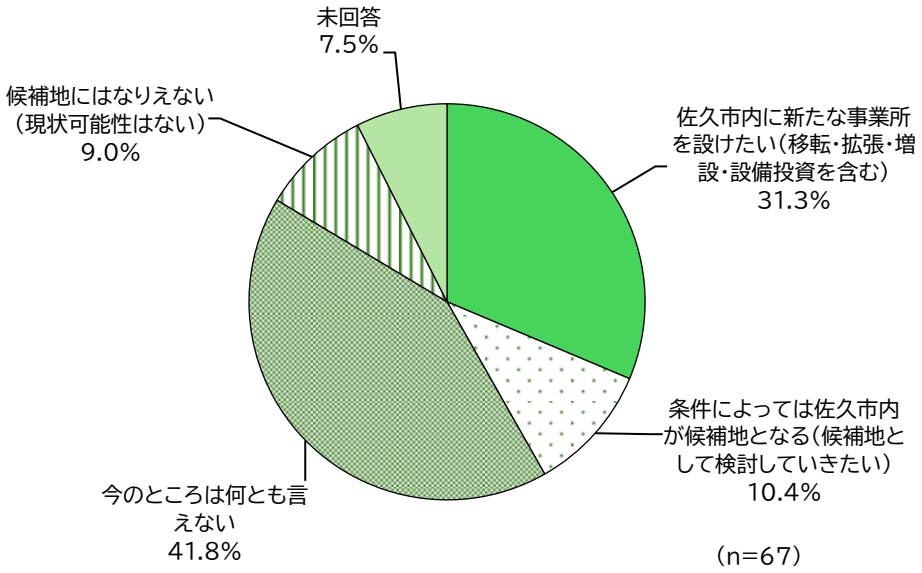
（3）いつ頃の立地を想定されていますか。(1つに○)

図表 14 立地の想定時期



（4）佐久市内を、新たな事業所立地の候補地として検討されますか。(1つに○)

図表 15 佐久市内を、新たな事業所立地の候補地として検討しているか



（5）佐久市の産業用地や企業立地支援、佐久市が新たな工業団地の整備を進める場合のご要望等について、自由にご回答ください。（自由記述）

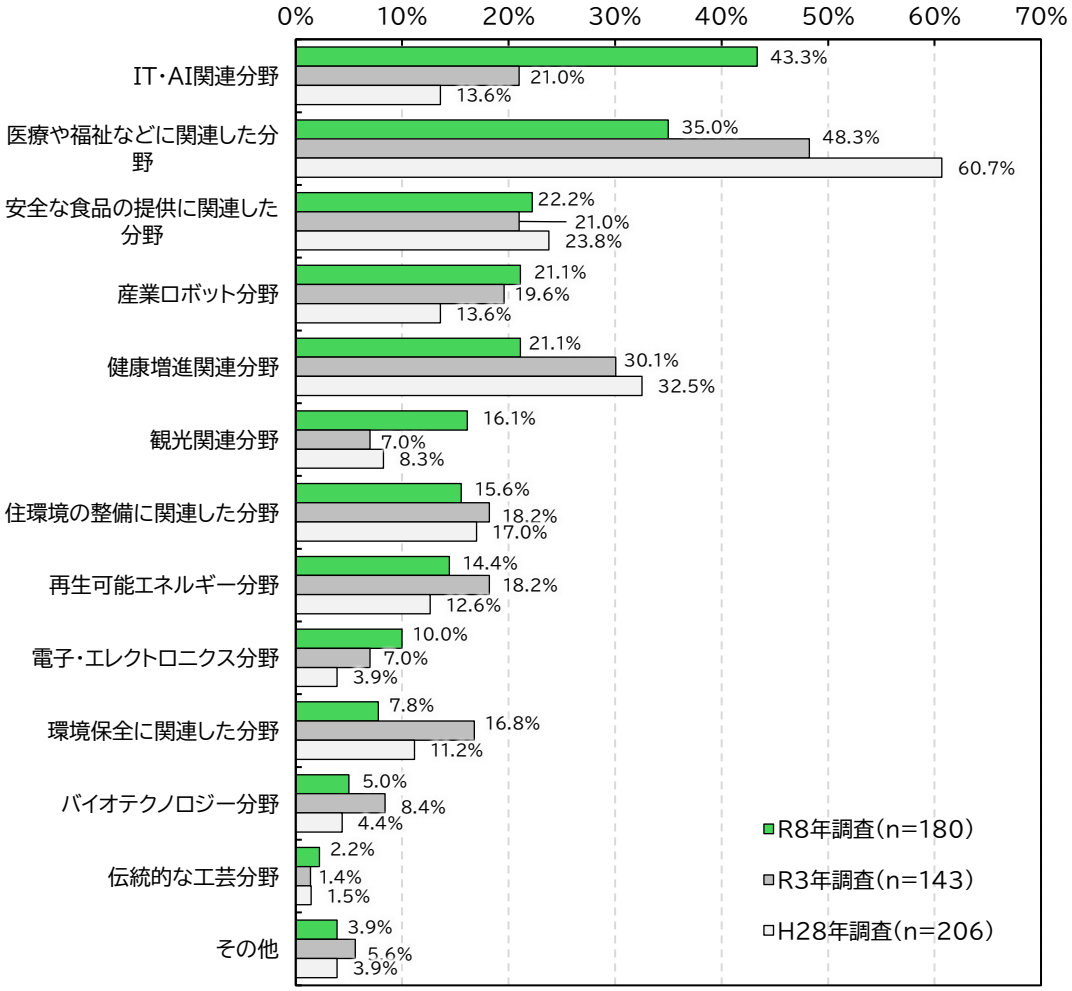
- 従来から佐久市（市内で事業を営む）の企業に対して優先（手厚い）した配慮を希望する。（建設業）
- 地元企業が積極的に活用できる支援策としてなることを期待する。（建設業）
- 新しく工場等、事業を始めるにあたっての建設コスト以外の諸々の諸経費の補助があると助かる。計算以外の出費が多い。（食料品製造業）
- 通勤ラッシュの解消、道路整備。働く人間の気持ちになれば判るはず。（食料品製造業）
- 地下水を活用したいので水質及び周辺環境（宅地や工場による水質変化の有無、地盤の状況）を含めた資料がほしい。（飲料・たばこ・飼料製造業）
- 20tクレーン等大型トラックの積み荷に対応ができる設備がベースとして整っていることを前提としているとありがたい。（金属製品製造業）
- 高速道など、道路交通の利便性が高いエリアで工場団地を求めている。ただし、基礎地盤の良い場所 （臼田エリアの用地は地層が悪く工場としては適していなく断念した。）
  土地取得費、建物建設費の補助拡充
  工場用地の提供が独自で困難な場合、民間での売買に対する補助も拡充をお願いしたい。
  懸念事項
  従業員数の増加要件は成立が難しくなっている。（増員したいが募集しても確保が困難）
  数十年で労働環境が温暖化によって大きく変化している中、熱中症対策など法的義務も設置され現在の工場や建物施設では対応しきれない状況にもなってきている。これらの急激な変化に対しても補助を出してほしい。

  一般的に省エネ補助金のように新旧入れ替えの設備機器に対する補助が大半で、新設、建物改造に対する補助はあまりない。（生産用機械器具製造業）
- 佐久インターの北側に土地があると思うので、交通のアクセスが良い場所に工業団地を整備すると良いと思う。出来る限り早めに用地を確保。（業務用機械器具製造業）
- 補助金などの支援をお願いしたい。（電子部品・デバイス・電子回路製造業）
- 市、県の立地条件が厳しく、既存工場隣接土地の農地転用、水害対策、開発申請が困難。一方工業団地は高額で対象にならない。（輸送用機械器具製造業）
- 整備費の補助金制度を設けてほしい。（情報通信業）
- 佐久中佐都 IC～佐久南 IC 付近の工業団地整備を希望（運輸業）
- 人口減少による人手不足。仕事があっても人がいない。肉体労働が今後どれほどの需要があるのか。中小零細企業に大手並みの賃金は難しい。（その他のサービス業）

5. これからの成長分野と、佐久の地域特性が活かせる分野

問 11　人口減少や少子高齢化、デジタル化の進展、脱炭素化への対応など、産業を取り巻く環境が変化する中、どのような分野がこれから伸びるとお考えですか。(当てはまるもの3つまで○)

図表 16　これから伸びる分野



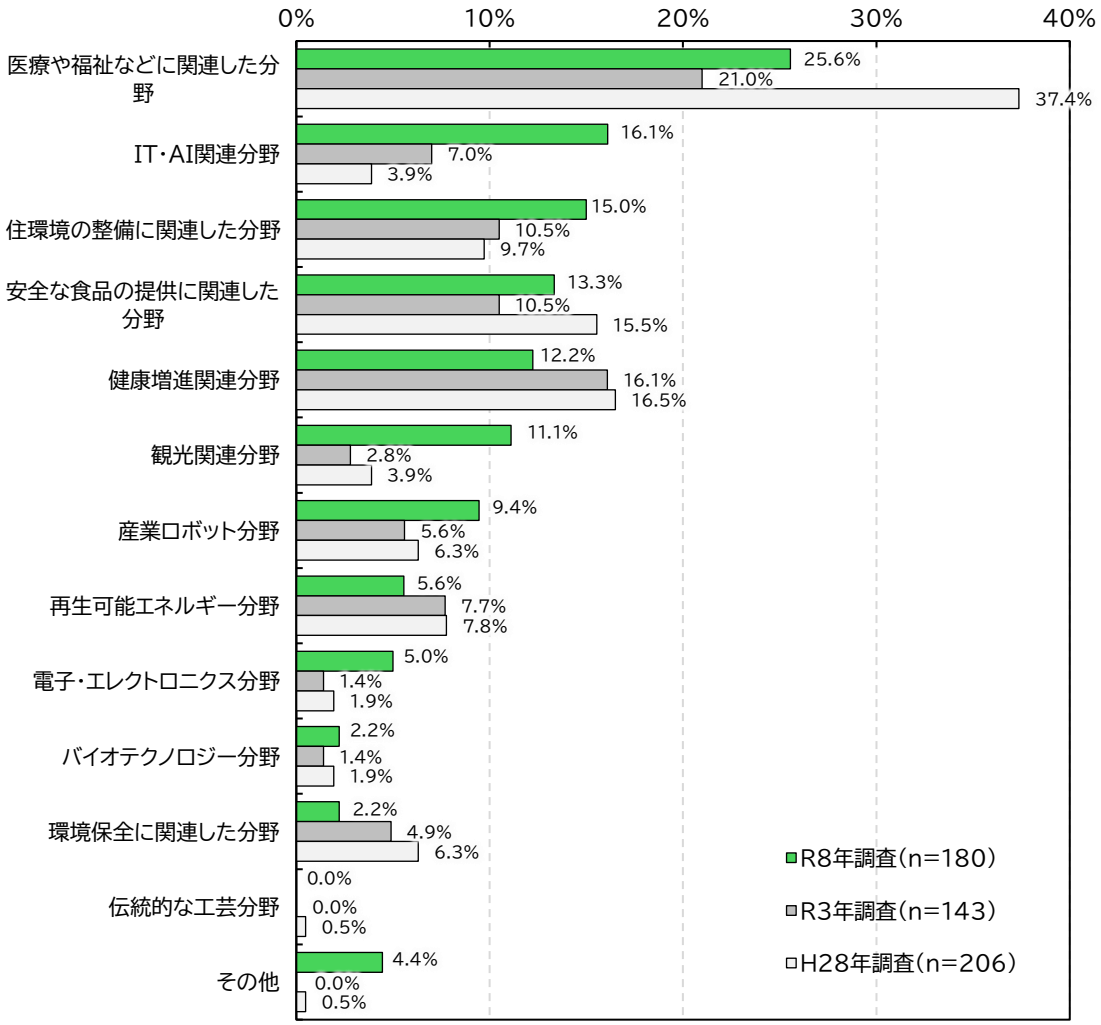
(注)「IT・AI関連分野」は、R3年及びH28年調査では「IT関連分野」として訊いた

【その他の記述回答】

- 物流拠点
- 農業分野
- 産業用機械分野(半導体、工作機械など)
- 物流施設
- 物流のハブとして物流拠点の役割
- 軽井沢町とのアクセス道路の改善

問 12　問 11 の選択肢で、佐久市の地域特性が活かせると思われるのはどの分野とお考えですか。

図表 17 佐久市の地域特性が活かせると思われる分野



(注)「IT・AI関連分野」は、R3年及びH28年調査では「IT関連分野」として訊いた

【1. 安全な食品の提供に関連した分野を選択した理由】

- 地産地消(建設業)
- 都心からのアクセスが良い為、観光客に対して農産物や加工品を提供しやすい(建設業)
- 菓子、酒、味噌(食料品製造業)
- 近年東京方面に行くと信州産ブランドがより価値を高めてきている(食料品製造業)
- 生活に直結したことだから(食料品製造業)
- 発酵食品と有機系野菜の宝庫(食料品製造業)
- 良質な水(食料品製造業)
- 安全・安心な農作物を生産しているやる気のある若者が多い(飲料・たばこ・飼料製造業)
- 恵まれた自然環境(飲料・たばこ・飼料製造業)
- 農産物の生産(印刷・同関連業)

- 長寿社会に対し必要と思う。（金属製品製造業）
- 多くの市民が自作の農産物を道の駅などで販売している。空き農地の活用にもつながると思うので販売できる場所がもっとあると良い。（電気機械器具製造業）
- プラネタリーヘルス、空農地活用（輸送用機械器具製造業）
- 水が良い。（山地である）（その他の製造業）
- 豊かな自然環境を生かした五郎兵衛米や佐久鯉など第1次産業製品をブランド化して全国に提供できればよい。（その他の製造業）
- 特産物（果物、野菜等）（運輸業）
- 高原野菜のほか、気温上昇による適正作物も増える。都市への物流にも好条件と考える。（卸売業）
- ワイン（小売業）
- 農産物が多く安全な食品が提供できそう。（生活関連サービス業）
- 豊かな自然環境と農業基盤を有しており、安全安心な生産から加工・流通まで発展が期待できる。（医療・福祉業）
- 水・米・気候など自然環境に恵まれ、安心・安全でおいしい食材にあふれている。ツーリズムと併せて地域全体で取り組む。（その他のサービス業）
- 生産地が近い、水資源が豊富、消費地へのアクセス良い、地域ブランドイメージが高い。（その他のサービス業）
- 東西南北に延びる高速交通網の活用、新鮮な高原野菜、食料品をはじめ工業用品等も仕分けできる物流ハブ拠点としての可能性。ヘルシーテラス佐久南を災害拠点とすることで、松本駐屯地との連携が可能、また中部横断自動車道の早期開通、松本バイパス（仮称）の実現性も高まる。（その他のサービス業）

【2．住環境の整備に関連した分野を選択した理由】

- 移住の受け皿としての佐久平～岩村田地域の活用（建設業）
- 古民家活用（建設業）
- 高速道の誘致により首都圏との利便性（建設業）
- 佐久平駅を中心とした発展及び周辺に住宅建築が進んでいる。（建設業）
- 子育て世帯の生活しやすい環境整備（建設業）
- 自然環境の良さを活かす。（建設業）
- 天災が少ないことに由来する安全性など。（建設業）
- 都心からアクセスが良いため、移住者の受け入れがしやすい。（建設業）
- 医療、防災（食料品製造業）
- 温暖化による消費エネルギーに対する家屋の対策、町中における空家の対応、田んぼをつぶすのではなく（治水のため）今ある空家の利用で人を増やす。（食料品製造業）
- 自然が多いのに都市部もある、非常に過ごしやすい。（食料品製造業）
- 首都圏に近い事を活かし、観光資源の掘りおこしが見込める。（飲料・たばこ・飼料製造業）
- 都心へのアクセスが良い。（飲料・たばこ・飼料製造業）
- 比較的自然災害の発生が少ないので移住促進を図る。（飲料・たばこ・飼料製造業）
- 公的機関が省エネ住宅を建設し、佐久市外の人に貸し出し人口増をめざす。（木材・木製品製造業）
- 脱炭素化にむけて既存住宅の省エネ化が必要（木材・木製品製造業）
- 首都圏へのアクセスや土地があるので、人口増加に期待できる。（印刷・同関連業）
- 移住者が多いため、また軽井沢が隣町にあるため。（金属製品製造業）

- 晴天率もよく移住者も増加している。（生産用機械器具製造業）
- 佐久市は地震の少ない土地であり安心安全であることと、都内からの通勤も可能であることが大きい。（電気機械器具製造業）
- 全国各地で発生する自然災害の影響を受け難い安全な立地と、首都圏への交通の利便性を生かした分野に期待できる。（卸売業）
- 臼田小学校跡地で通園事業所などの預かり場を期待したい。（小売業）
- 移住先候補としての住環境の拡大（宿泊業）
- 新幹線によるアクセス性の良さによる移住者増（飲食業）
- 首都圏への通勤圏内（その他のサービス業）
- 人口増加（その他のサービス業）
- 人口減少・少子高齢化が進む中、より一軒一軒の環境整備が期待できる。（その他のサービス業）

【3．環境保全に関連した分野を選択した理由】

- 自然を活かした産業の育成（金属製品製造業）
- 脱炭素が必須の世の中になってくる。（電気機械器具製造業）
- 佐久市の自然を活かした活動（その他の製造業）
- 水資源に関する意識関心が高い。農業や林業に従事している人が身近にいる環境が今のところ保持されている。（医療・福祉業）

【4．医療や福祉などに関連した分野を選択した理由】

- 医療、健康分野との連携（建設業）
- 高齢化に伴い医療・介護の需要が増えることに加え、佐久市は地域医療が充実しているため、今後も発展が期待できる分野だと考える。（建設業）
- 佐久医療センターを筆頭に医療が強いと思う。（建設業）
- 佐久大学、医療センター、福祉等連携しやすい。（建設業）
- 人口に対して病院数か多い。（食料品製造業）
- 医療機関、福祉関係が充実しており、今後も特性が活かせる。（飲料・たばこ・飼料製造業）
- 医療機関が充実しているので相乗効果が期待できる。（飲料・たばこ・飼料製造業）
- 大学・病院の強みを生かした取組ができる。（飲料・たばこ・飼料製造業）
- これからの高齢化に伴い、福祉施設を増やす。（木材・木製品製造業）
- 高齢化社会に対応できる環境にある。（印刷・同関連業）
- 医療機関等との連携が期待できるが、現状では小規模産業の育成までが限界（プラスチック製品製造業）
- 医療に対する補助金が充実している。（金属製品製造業）
- 医療機関が充実している。長寿（金属製品製造業）
- 医療機関の充実、福祉施設への貢献に期待できる。（生産用機械器具製造業）
- 医療機関、福祉施設などとの連携が期待できる。（業務用機械器具製造業）
- 市内に開業医などが多く、福祉分野と連携が可能（業務用機械器具製造業）
- ×AI/DX（電子部品・デバイス・電子回路製造業）
- 医療機関・福祉施設などとの連携が期待できる。（電子部品・デバイス・電子回路製造業）
- 医療機関との連携（電気機械器具製造業）

- 佐久市は医療センターもあり、医療が充実している。（電気機械器具製造業）
- 自然環境（電気機械器具製造業）
- 医療機関が充実しており、福祉施設が増加している。（情報通信業）
- 医療機関・福祉施設など関連事業が期待できる。（卸売業）
- 医療機関や大学が整理されている。（小売業）
- 臼田小学校跡地で通園事業所などの預かり場を期待したい。（小売業）
- 医療センターをはじめとする地域医療の拡大（宿泊業）
- 長寿市として老人ホームのさらなる拡大（生活関連サービス業）
- 高齢化の進展にともない、医療、介護予防、健康づくり分野における新たなサービスや技術への需要が見込める。（医療・福祉業）
- 佐久病院、浅間病院という高度な医療が提供可能（医療・福祉業）
- 佐久病院を中心とした長寿地域としてのブランド（医療・福祉業）
- 人口減少、高齢化、最大の社会的課題であると考える。（医療・福祉業）
- 医療・福祉の先進地であり、産・学・官連携の地域モデルができる。（その他のサービス業）
- 快適健康都市の実績がある。（その他のサービス業）
- 現在も医療は充実していると感じている。（その他のサービス業）
- 仕事をしながら介護できる環境があれば現役世代の介護移住者が見込める。（その他のサービス業）
- 血液、医薬品などの物流ハブ拠点としての活用も見込める。ヘルシーテラス佐久南を災害拠点とすることで、松本駐屯地との連携が可能、また中部横断自動車道の早期開通、松本バイパス（仮称）の実現性も高まる。（その他のサービス業）

【5. IT・AI 関連分野を選択した理由】

- 最先端技術の開発など企業間協力がやりやすい。（建設業）
- 過疎部こそ自動運転が必要。飲酒を伴う飲食店も売り上げが上がる。（食料品製造業）
- IT・AI 関連分野は今後全世界で成長が期待できる。（飲料・たばこ・飼料製造業）
- AI に特化した教育の充実（木材・木製品製造業）
- IT・AI 関連は今後必要分野（木材・木製品製造業）
- 佐久市に限らず可能性のある分野である。（印刷・同関連業）
- 佐久は比較的自然災害リスクの少ない地域であることからデータセンターは誘致しても良いと考える。（プラスチック製品製造業）
- 労働者数減少に対応し、IT 化 AI 化は必須（プラスチック製品製造業）
- SOIC がある。（金属製品製造業）
- SOIC と連携し地域の高度化、先進地となる。（電子部品・デバイス・電子回路製造業）
- 在庫管理システム（電子部品・デバイス・電子回路製造業）
- 新幹線（佐久平駅）都内企業との協業化（電子部品・デバイス・電子回路製造業）
- 特に AI（電子部品・デバイス・電子回路製造業）
- コア技術を持った企業がいる。（電気機械器具製造業）
- 佐久市との連携（情報通信業）
- AI 需要によりデータセンター需要が高まる。水と電力が必要だが太陽光発電などを確保し誘致する。雇用増加も。（卸売業）

- 水が豊富、地盤が固い。フィジカル AI など半導体分野の工場誘致（熊本、北海道に次いで）（卸売業）
- キレイな水、空気と工業用地がある。高速道路、新幹線もあり利便性も高い。（小売業）
- 世界レベルでの先進水準に合わせた対応（宿泊業）
- これからの時代に必要な分野（医療・福祉業）
- 医療機関が集積しており、医療DXやAIを活用した健康や介護分野の事業化が期待できる。（医療・福祉業）
- AI がいろいろなアドバイスをだせる。（その他のサービス業）
- 医療・福祉の強みと IT・AI を活用した人口減少に勝てる地域づくりのモデルをつくる。（その他のサービス業）
- 交通の利便性を生かした企業誘致（その他のサービス業）
- 国内外においての今後の課題と考える。（その他のサービス業）
- 今も伸びている。（その他のサービス業）

【6．産業ロボット分野を選択した理由】

- 最先端技術の開発など企業間協力がやりやすい。（建設業）
- 災害が発生しづらい環境にある。（建設業）
- 働く人材が少ないためロボット分野は期待できる。（建設業）
- 製造業が多い。（プラスチック製品製造業）
- 製造業メーカーが多数市内に存在している。（プラスチック製品製造業）
- 労働者数減少に対応し、IT 化 AI 化は必須（プラスチック製品製造業）
- SOIC がある。（金属製品製造業）
- 良顧客さえあれば現存企業で対応は可能（生産用機械器具製造業）
- 人手不足におけるニーズ拡大（電気機械器具製造業）
- 精密機械加工保有企業が多数存在する。（電気機械器具製造業）
- 重労働分野の部分自動化（輸送用機械器具製造業）
- キレイな水、空気と工業用地がある。高速道路、新幹線もあり利便性も高い。（小売業）
- 成長産業（小売業）
- フィジカル AI による、高度化が予想される。（医療・福祉業）
- 労働力人口が減少する中で必須の分野（医療・福祉業）
- 物流での優位性が期待できる。（その他のサービス業）

【7．電子・エレクトロニクス分野を選択した理由】

- 災害が少ないので製造分野などを誘致が期待できる。（建設業）
- 良顧客さえあれば現存企業で対応は可能（生産用機械器具製造業）
- 災害が少ない。水が豊富。（電子部品・デバイス・電子回路製造業）
- 希望的観測。（電気機械器具製造業）
- CASIO、SEIKO など精密機器メーカーがある。（材料がカビない）（その他の製造業）
- キレイな水、空気と工業用地がある。高速道路、新幹線もあり利便性も高い。（小売業）
- 強い企業との連携がしやすい（小売業）
- 快適健康都市の実績がある。（その他のサービス業）

- 物流での優位性が期待できる。（その他のサービス業）

【9．健康増進関連分野を選択した理由】

- 医療機関が充実している。（食料品製造業）（電気機械器具製造業）
- 健康長寿の町（食料品製造業）
- 長野県は長寿でも有名なのと、近年の若年層の共働きで食事での栄養がおろそかになってきている。長野県民の生活の仕組みが参考になりそう。（食料品製造業）
- 健康増進関連分野は医療機関との連携が期待できる。（飲料・たばこ・飼料製造業）
- 大学・病院の強みを生かした取組ができる。（飲料・たばこ・飼料製造業）
- 発酵食品に富んだ地域（飲料・たばこ・飼料製造業）
- ヘルスケア創設（印刷・同関連業）
- 日本トップクラスの長寿の市なので、アピールが期待できる。（印刷・同関連業）
- 医療が充実している事と適度な自然環境やぴんころ地蔵にちなみ健康増進（プラスチック製品製造業）
- 高齢者が増加している。（金属製品製造業）
- 長寿社会に対し必要と思う。（金属製品製造業）
- 長野県を長寿県にした実績があり、当分野がさらに伸びる可能性がある。（業務用機械器具製造業）
- 長寿の市として他地域からの移住が推進できる。（卸売業）
- 臼田小学校跡地で通園事業所などの預かり場を期待したい。（小売業）
- 医療機関・福祉施設などとの連携が期待できる。（飲食業）
- 医療、介護、福祉が充実しており健康増進への知識と意識を育む環境が整っている。自然食品を摂取する機会が豊富（医療・福祉業）
- 健康長寿で長生きすることを多くの人が望んでいる。（医療・福祉業）
- 人口減少、高齢化、最大の社会的課題であることに加え、予防医療の必要性が高まる。（医療・福祉業）
- 長寿シティーの確立（その他のサービス業）

【10．再生可能エネルギー分野を選択した理由】

- 気象条件の良さから、次世代太陽光発電のポテンシャルが期待できる。（建設業）
- 晴天率の良さを利用し太陽光発電・蓄電池設置の推進（建設業）
- 天候が良い。（建設業）
- 日照率が高い。（建設業）
- 佐久平の日当たりを活かす。（木材・木製品製造業）
- 再生エネルギーは生活や企業への活性化につながると思う。（生産用機械器具製造業）
- 資源の少ない佐久、資源のリサイクル（業務用機械器具製造業）
- 晴天率の高さ（その他の製造業）
- 循環型再生可能エネルギーの創出（その他のサービス業）
- 日本の中心でもある佐久の自然を活かして開発を期待できる。（その他のサービス業）

【11．バイオテクノロジー分野を選択した理由】

- 発酵系食品との組み合わせ（食料品製造業）

- これから伸びる可能性（その他のサービス業）
- 石油の供給が困難になる中、バイオ燃料や下水道を浄化槽に替え、微生物による汚れの浄化に期待（その他のサービス業）
- 農業分野での活用（その他のサービス業）

【12. 観光関連分野を選択した理由】

- 軽井沢からの流入観光（建設業）
- 香坂山遺跡などの観光地化及びアクセス道路の改善（建設業）
- 浅間山、蓼科山の眺望、夏の気候（建設業）
- 都会からのアクセスがよく、軽井沢の周辺（建設業）
- 東京から近くに位置して自然環境やスキー場、山や川いろいろな環境がある。（建設業）
- 菓子、酒、味噌、IP コンテンツ（食料品製造業）
- 軽井沢や八ヶ岳などからの集客が期待できる。（食料品製造業）
- 川村吾蔵のアピール（食料品製造業）
- 美味しいものが沢山ある。温泉もある。あとは交通手段（食料品製造業）
- 歴史　城趾（食料品製造業）
- 首都圏や軽井沢からの距離が近い。（飲料・たばこ・飼料製造業）
- 自然も多く登山やキャンプ、グランピングなどアウトドアを推進してはどうか。（プラスチック製品製造業）
- 恵まれた自然環境を生かす。（金属製品製造業）
- ×AI/DX（電子部品・デバイス・電子回路製造業）
- 今現在あまり力を入れていないように思えるので力を入れてほしい（電気機械器具製造業）
- 高速道路など交通網の発展が期待できる。（運輸業）
- 徐々に外国人の観光客が増えている。（小売業）
- 北陸新幹線佐久平駅がある。（医療・福祉業）

【その他の記述回答】

- 別荘地エリアとの接続改善による流入増（建設業）
- 農業分野（印刷・同関連業）
- 人口減少や少子高齢化により大きな成長を期待できる分野はないと考える。まずは人口増加に向けた政策が必須。佐久平自体大きな変化が必要（金属製品製造業）
- 上信越道、中部横断自動車道、R141 を利用した物流網（運輸業）
- 中部横断自動車道の全線開通が前提だが、佐久市は物流のハブになれる立地で、Amazon 倉庫などで雇用増と考える。（卸売業）
- 佐久市には素晴らしい自然風景が沢山ある。しかし電線が地下にあれば、もっと心落ち着く景色とともに生活・観光もできるのではないかと思う。（小売業）
- 教育分野。自然の中で身体的、精神的な健康を培い、学業においては首都圏と同等の環境を提供できればよい。（その他のサービス業）
- 東西南北に延びる高速交通網の活用、新鮮な高原野菜、食料品をはじめ工業用品等も仕分けできる物流ハブ拠点としての可能性。血液、医薬品などの物流ハブ拠点としての活用も見込める。（その他のサービス業）

問 13　佐久市は、医療機関が充実しているという特徴があります。こうした地域資源を活かして、地域産業の振興につなげていくためには、どのような取組が考えられると思いますか。（自由記述）

- 医療、福祉に関連したデジタル、AI 化を進める。人材不足に伴うロボット化、機械化により人材を補う。外国人の採用（建設業）
- 首都圏に比べて災害リスクが低い。中部横断道を早期に開通させ、東日本の物流の拠点を創る。

  熱帯夜を阻止するために、危険な日は防災無線で散水を市民に依頼する。宇宙ステーションから散水による効果が観察出来たら面白い。

  佐久市の東側は地震時の想定震度が小さい。平均気温が首都圏より低い。データセンターの誘致。

  日本の屋根長野、海岸線より一番遠い佐久市に防衛庁を誘致。

  日本一長い千曲川沿いに日本一長いサイクリングロードの整備（建設業）
- 住宅として移住や子育てに特化して助成等を考え、人口を増やしていく材料として扱う。（建設業）
- 一片だけを見ずに、総合的な取り組みを行うべきである。（食料品製造業）
- 長期入院者や子供の入院の付き添い人のための宿泊施設への補助や短期間滞在のための家具付の部屋を用意するなどの対応が出来る組織。看護師、介護士の育成。寮を補助するなど。人間ドックなど検査する人向けの健康食の試食や観光など。（食料品製造業）
- 様々な地域資源（食べ物、温泉）と医療の組み合わせを産学官で科学的に証明しながら、県外の人を呼び込めば振興につながる。そのポテンシャルは多いにある。（食料品製造業）
- 現在の状況を維持していくと共に、医療、看護関連の大学等の充実を図る為のバックアップが必要。少子化もあるので難しいかもしれないが、若い学生を市内に呼び込める事ができればとも思う。（飲料・たばこ・飼料製造業）
- 医療・産業・大学（教育機関）の連携（印刷・同関連業）
- 佐久市の健康長寿を活かした産業振興ビジョンが取り組まれているため、このビジョンに沿った取り組みに拍車をかけて進めていほしい。（印刷・同関連業）
- インバウンドに向けた医療ツーリズムの促進（プラスチック製品製造業）
- 医療関係者とタッグを組み健康プログラムを作る。予防という観点を前面に出す。自然が多いのでトレイルマラソンやウォーキングやパラグライダーなどの大会を誘致し観光にもつなげる。（プラスチック製品製造業）
- アイデアの拾い出しをより積極的に行い、その課題の可視化をしっかり行う。課題があいまいなため、研究開発まで必要なものか一時的なものかの判断が難しい。資源は活かせても、活かしきれる人材が圧倒的に不足しており、一部の人のみで行っているイメージがある。（金属製品製造業）
- 医療、メーカーと市とのつながりを強くする。（金属製品製造業）
- 医療費の補助（金属製品製造業）
- 医療ツーリズムでも積極的に PR してみるとよい。（生産用機械器具製造業）
- 医療機関が充実していても、産業振興に効果は低いと思われる。どういう意味で充実していると行政は考えているのか。数、高度性、連携なのか。消費需要（医療含む）は、域内循環消費であり、収益性が低く将来需要も人口に比例し減少する。

  工業振興を強化すべき。県外、海外から収益を得ることができ収益性が高く継続性がある。また、行政的にも投資効果が高い（固定資産、雇用など）。佐久市内の企業で何が可能なのか（強み）をまずは行政が知るべき。工業分野に強い職員がいない。（基本的に工業分野は建築土木同様に技術主体なので、積重ねが必要）（生産用機械器具製造業）
- 医療機関の充実と急速な高齢化社会への進展を考え、医療・福祉都市を目指したら良い。（業務用機械器具製造業）
- 有能人材の転入（業務用機械器具製造業）

- 医工連携を進め、検査機器などにより省人化に取り組む。人材不足にも効果が出る。（電子部品・デバイス・電子回路製造業）
- 医療環境を活かした医療・健康関連産業の振興（電子部品・デバイス・電子回路製造業）
- 医療機関が充実しているということが地域産業の振興に結び付くとは思わない。（電気機械器具製造業）
- SOIC を通した産官学医連携。世界最高健康都市を目指すのであれば、健康経営優良法人数 No.1を目指す。産官学医が意識度調査に取り組み、選ばれる地域を本気で目指す。（輸送用機械器具製造業）
- 他県との交流を行い、医療都市を目指す。海外より富裕層の取り込みを行い、患者に必要な処置を行う。（その他の製造業）
- 東京に代表される大都市からのユーザーをみこんだリトリート施設（医療＋大自然）（その他の製造業）
- 医療機関と地元企業、行政が情報交換する機会を設け、医療機関の課題に対し、解決できる企業・行政の仕組み等を提案し、解決していくという仕組みづくりが有効となるのではないか。 企業は医療機関の課題を解決することで利益を得ることができ、行政は仕組みを利用してもらえるようになり、医療機関は課題を解決する選択肢が増える。 当社のサービスを例に挙げると、光ファイバーを有効活用した遠隔医療システムの構築により、さらに踏み込んだ医療体制が取れるのではないかと考える。（情報通信業）
- 医療機関が充実している佐久市に、地域住民の高齢者だけでなく、移住の高齢者でも安心して終身まで快適に生活の出来る「終の棲家」のモデル事業（幼児や、小中高や佐久大学の子供達との接点を増やす）で雇用を増やし、同時に IT による見守り介護、ロボット介護などの最先端企業のテストする機会の提供など、賛同者や企業が集まる環境を作る取組ができると理想的（卸売業）
- 医療機関を中心とした「コンパクトシティ」化による人の誘致（卸売業）
- 企業型保育園のように、サポートが必要なお子さんやお年寄りまたは、そういった方の預かり場がある企業で、シュレッダー作業など軽作業を依頼して収益にしてもらう場所が作りたい。（小売業）
- 長所を生かした移住の強化（飲食業）
- 「自然の中で生きる生活」「共同で分かち合う生活」といった脱消費型社会施設、循環型社会施設をこの地域に産業実装する。その際に医療機関の支援を基盤とする。休耕田や荒れた山林の活用、水力発電によるエネルギー地産地消、個人で所有するのではなく必要な時に使用できる共同保有やレンタルサービス利用など。資本主義的消費喚起を離れ、本気で循環型社会を実現する先進的な試みに、佐久の地域資源を有効活用できる。（医療・福祉業）
- 1. 医療人材を地域で育て、地域に定着させる支援

  医療機関が充実していても、それを支える人材が不足すれば地域資源は活かせない。薬剤師をはじめ医療専門職の多くは県外の大学に進学し、そのまま県外で就職してしまう。学生実習の受け入れ先を市が取りまとめて紹介する、実習期間中の宿舎を確保する、市内の医療機関・薬局に就職した人への奨学金返還支援を設けるなど、「実習で佐久を知り、卒業後に戻ってくる」流れをつくることが、最も確実な産業振興につながると考える。

  2.「医療が充実したまち」を移住・企業誘致の看板にする

  医療体制の厚さは、子育て世代とシニア層の双方にとって移住の決め手になる。新幹線で東京から短時間という立地と併せて発信すれば、人口の呼び込みと、企業のサテライト拠点誘致の両方に効果があると思われる。

  3. 医療・介護の現場を「実証フィールド」として開放する

  服薬支援機器、見守りセンサー、健康データの活用など、ヘルスケア関連の企業にとって、多くの医療機関と患者が身近にある環境は貴重な実証の場となる。市が医療機関・薬局・介護事業所と企業をつなぐ窓口を担えば、関連産業の集積が期待できる。

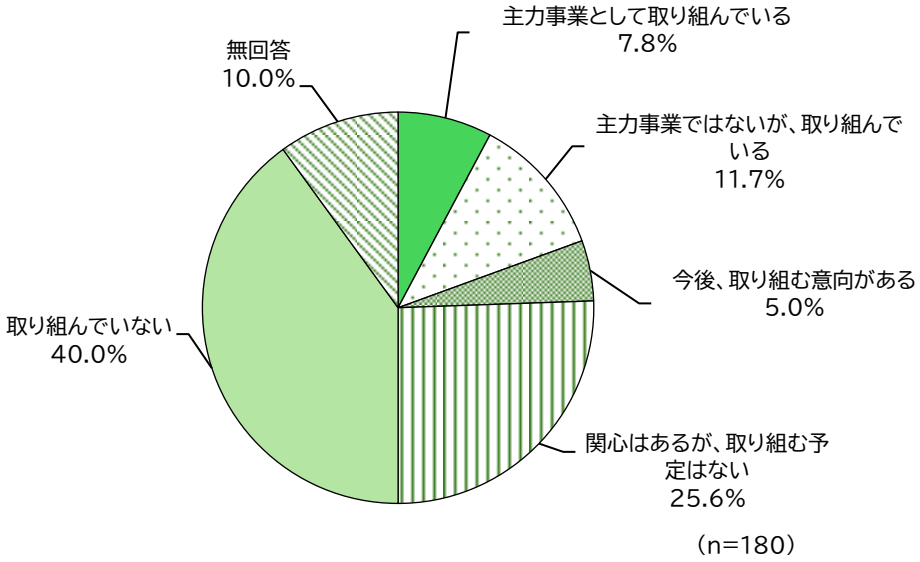
  加えて、薬局を身近な健康相談の窓口として位置づけ、地元の農産物・食品事業者と連携した健康

メニューの普及など、「健康長寿の佐久」を具体的な商品・サービスに落とし込む取組にも協力していきたい。（医療・福祉業）

- 医療DXやAIを活用した健康、介護分野の取組（医療・福祉業）
- 佐久市の強みである医療・介護資源を、単なる社会インフラではなく地域の基幹産業として位置付けることが重要だと考える。今後の地域医療構想を見据え、上小地域を含めた二次医療圏単位での連携を強化しながら、医療 DX や介護テクノロジー分野の企業誘致、人材育成、産学官連携を進めることで、雇用創出と地域経済の活性化につなげるべきではないか。また、「健康長寿のまち」のブランドを活かし、移住・定住促進や企業誘致にも結び付けていくことが重要と考える。（医療・福祉業）
- 移住、IU ターン ・専門以上の学校 ・他市町村との連携、広域の考えを柔軟に対応する（広域の範囲の細分化）。（その他のサービス業）
- 医師・看護師の育成と定着型雇用体制の確立（その他のサービス業）
- 現時点では、シニア層にとって安心できる医療地域のイメージ→ 全世代が安心して医療を受けられる地域への転換 ①スポーツ専門外来の PR 強化、施設、設備の充実、スポーツ施設集約 ②臼田看護学校の環境改善、寮の建て替え、周辺に学生向け飲食店の立地 ③産婦人科、小児科の集約→医療従事者増→定住、患者家族の長期滞在→アパート、ホテル、飲食店等の創設、佐久市南部は医療充実都市として人口流入を図る。（その他のサービス業）
- 食と医の連携（その他のサービス業）
- 単に医療機関の充実が特徴ではなく、公共圏における住民参加の議論や取り組みにその特徴があるので、その地域文化を生かして医療や福祉機関だけでなく、産・学・官と住民の連携により、健康で働きやすい地域は必ず多くの人から選ばれる地域となると思う。（その他のサービス業）

問 14　ヘルスケア関連分野への取組状況について教えてください。(1つに○)

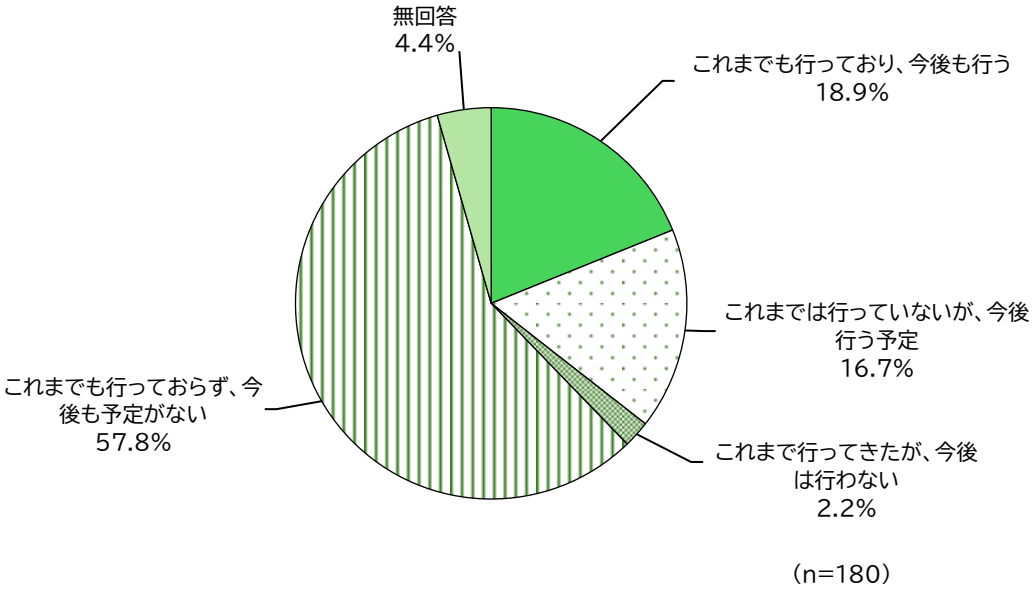
図表 18　ヘルスケア関連分野への取組状況



6. 産学官連携・企業間連携

問 15　産学官連携や企業間連携による事業展開の状況について教えてください。(1つに○)

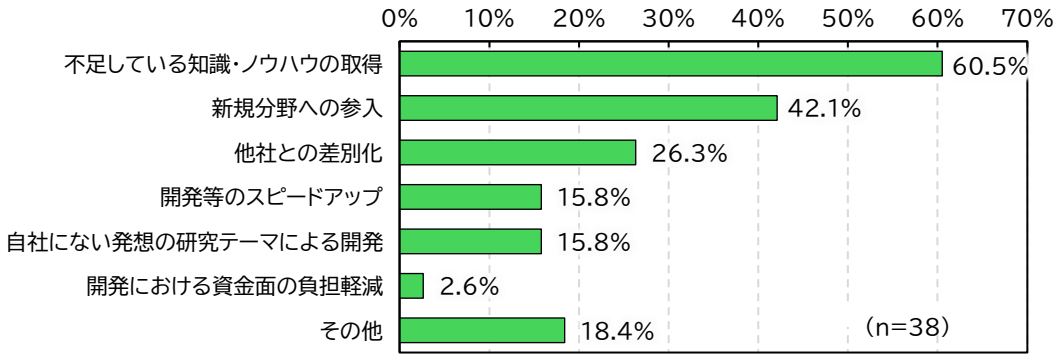
図表 19　産学官連携や企業間連携による事業展開の状況



問 16　問 15 で「1」もしくは「3」を回答した方のみ

(1) これまで産学官連携や企業間連携を行った目的について教えてください。(当てはまるもの3つまで○)

図表 20　産学官連携や企業間連携を行った目的

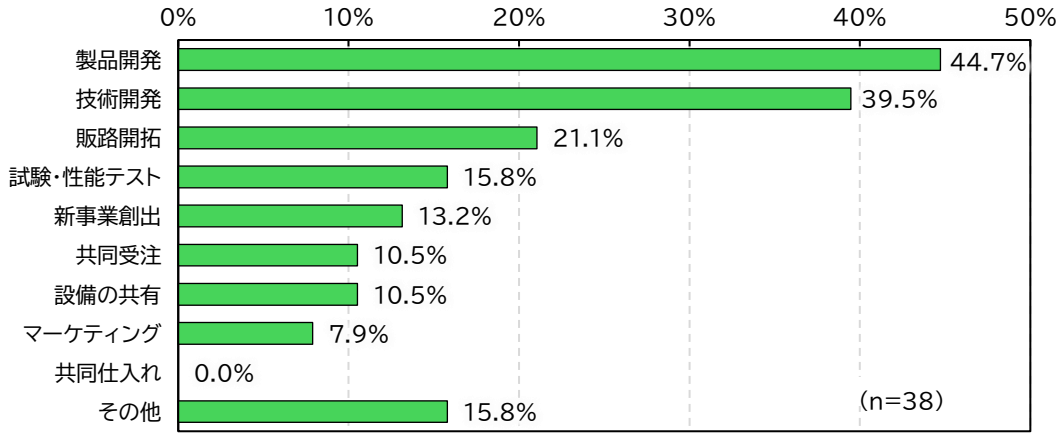


【その他の記述回答】

- 佐久酒造組合での活動をとおして PR した
- 学官よりの依頼
- 人材確保
- 地域貢献
- 新商品開発
- 各事業者が持つ技術やノウハウ共有のため
- 地域貢献

（2）これまで産学官連携や企業間連携を行った内容について教えてください。（当てはまるもの3つまで○）

図表 21 これまで産学官連携や企業間連携を行った内容



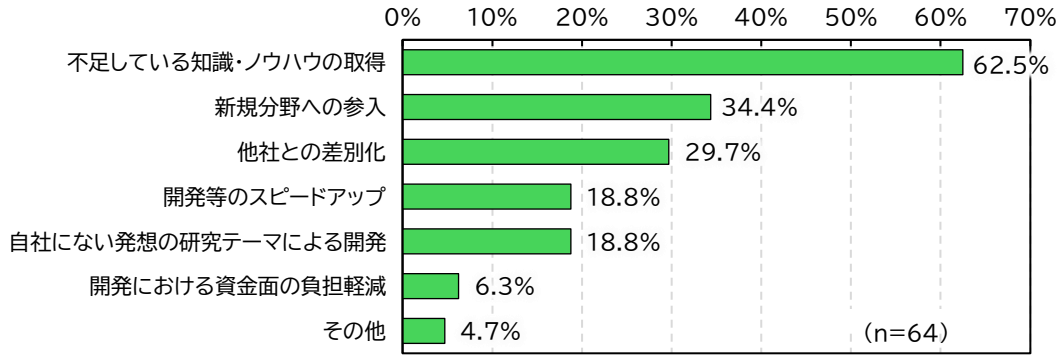
【その他の記述回答】

- Well-being City SAKU の実現に関わる事業
- 人材確保
- 原料研究と商品開発
- 低炭素、適正処理
- 人事総務などの社内ノウハウの共有。ウェルビーイング経営の共有

問 17　問 15 で「1」もしくは「2」を回答した方のみ

（1）今後、産学官連携や企業間連携を行う目的について教えてください。（当てはまるもの3つまで○）

図表 22　今後、産学官連携や企業間連携を行う目的

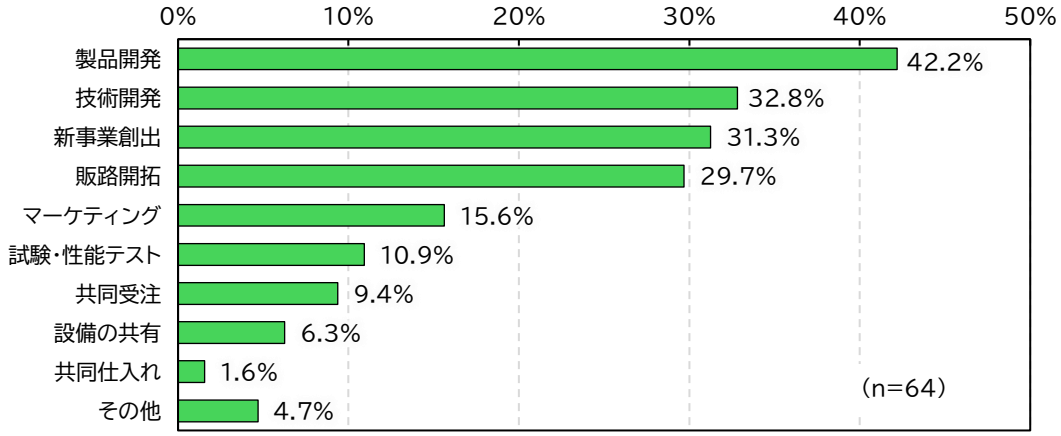


【その他の記述回答】

- 不足している技術力を補うため
- 地域貢献
- 低炭素、適正処理

（2）今後、産学官連携や企業間連携を行いたい内容について教えてください。（当てはまるもの3つまで○）

図表 23　今後、産学官連携や企業間連携を行いたい内容



【その他の記述回答】

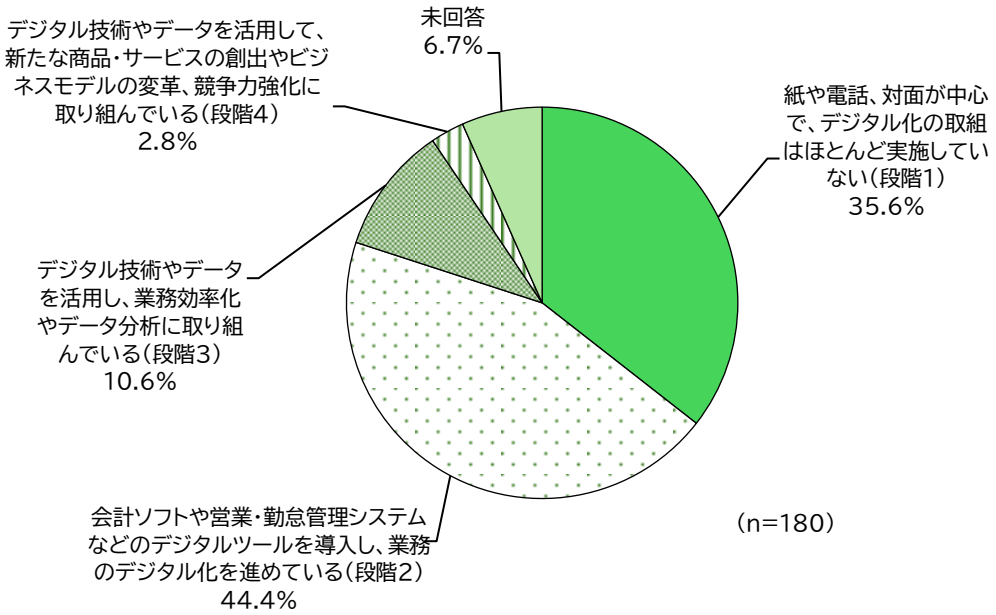
- 軽井沢のリテラシーの高い富裕層のニーズを取り込み事業化する
- 低炭素、適正処理
- 人事総務などの社内ノウハウの共有。ウェルビーイング経営の共有

7. デジタル化や DX、AI の導入状況

(1)DX について

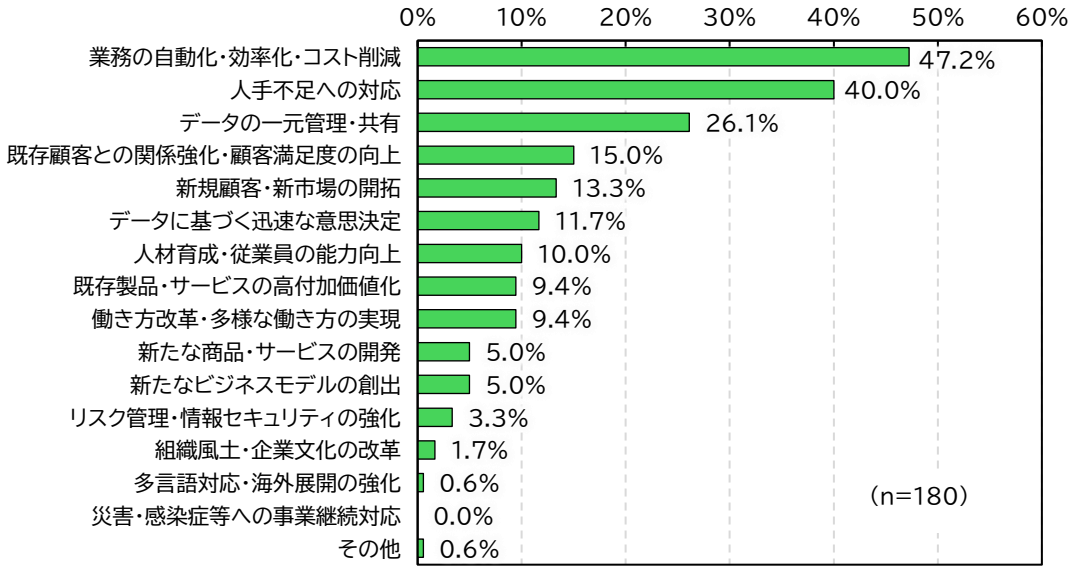
問 18　貴社のデジタル化や DX に向けた現在の取組状況を教えてください。(1つに○)

図表 24　デジタル化や DX に向けた現在の取組状況



問 19　貴社がデジタル化や DX に期待する成果・効果を教えてください。(当てはまるもの3つまで○)

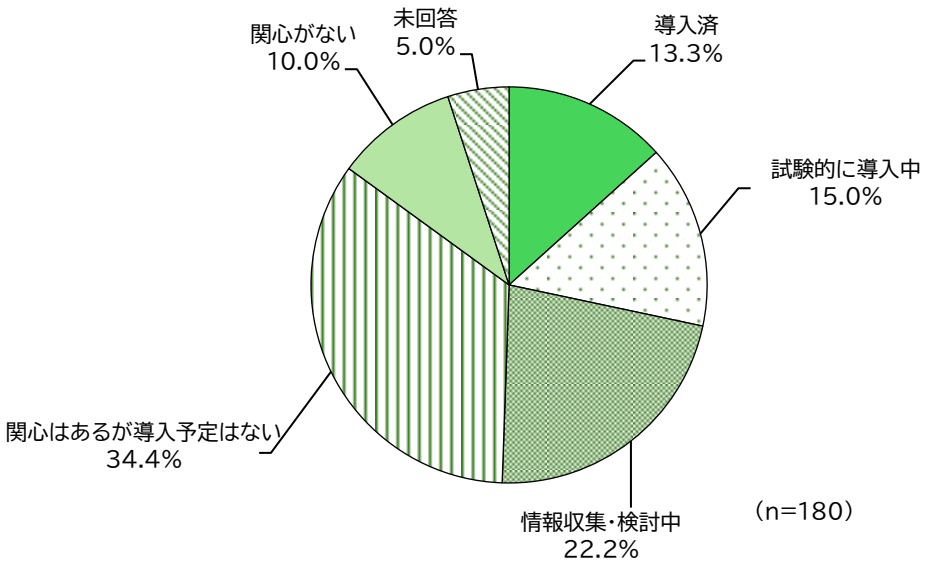
図表 25　デジタル化や DX に期待する成果・効果



(2)AI について

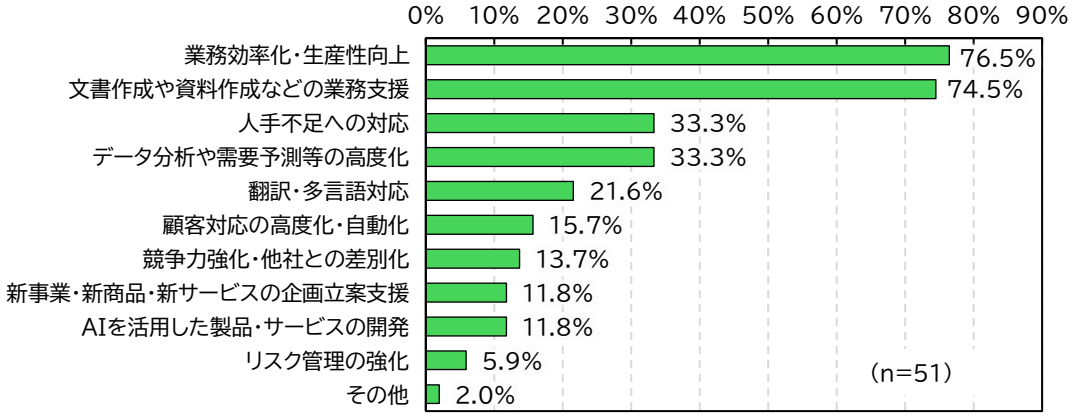
問 20　AI の活用状況について教えてください。(1つに○)

図表 26　AI の活用状況



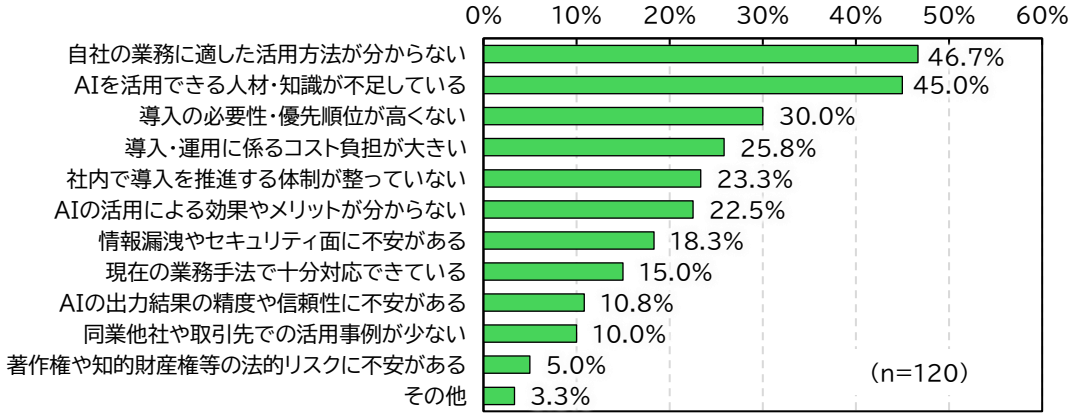
問 21 【問 20 で「1」もしくは「2」を回答した方のみ】 AI を導入した理由を教えてください。（当てはまるものすべてに○）

図表 27 AI を導入した理由



問 22 **【問 20 で「3」～「5」を回答した方のみ】** AI を導入していない理由を教えてください。（当てはまるものすべてに○）

図表 28 AI を導入していない理由



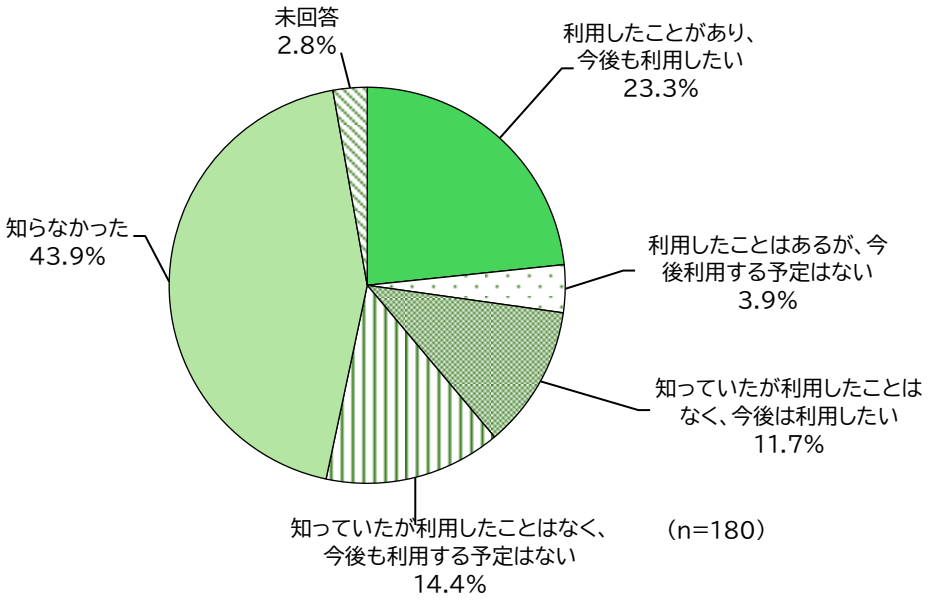
【その他の記述回答】

- 導入する手が足りない
- AI がわからない
- AI 活用するには PC が必要だが、この PC に対する補助金対応制度がない
- 小さな個人事業主で必要ない
- ネット利用で充分に活用出来ている。今後は検討していく

8. 佐久産業支援センター(SOIC)

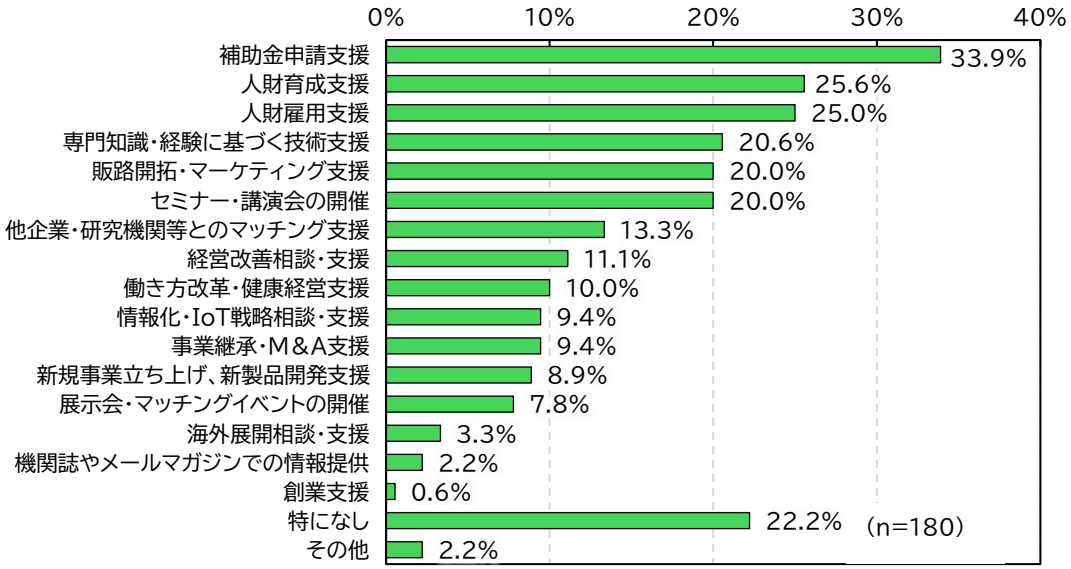
問 23 佐久産業支援センター(SOIC)について教えてください。(1つに○)

図表 29 佐久産業支援センター(SOIC)について



問 24 佐久産業支援センター(SOIC)に求めるものについて教えてください。(当てはまるものすべてに○)

図表 30 佐久産業支援センター(SOIC)に求めるもの



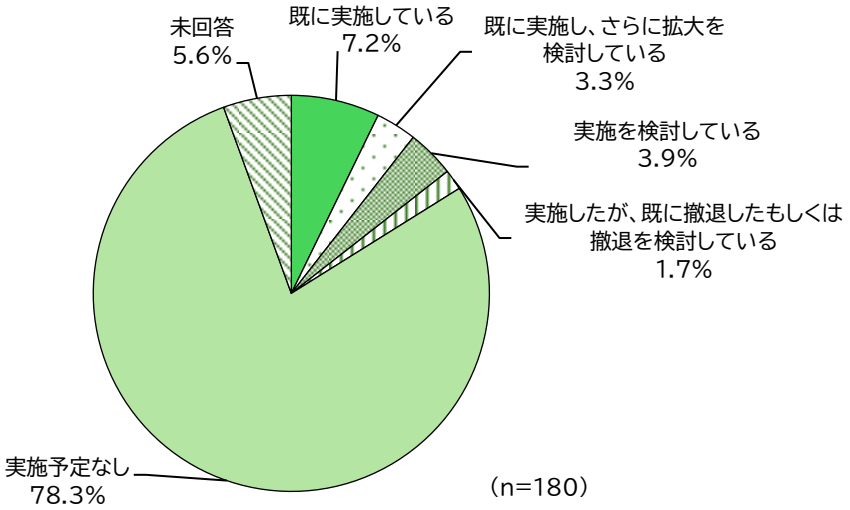
【その他の記述回答】

- SAKU メッセを通じて小中高(大)への教育
- 同業他社の為、そちらをサポートされると悲しい

9. 海外事業展開

問 25 海外での事業の展開・実施について教えてください。(1つに○)

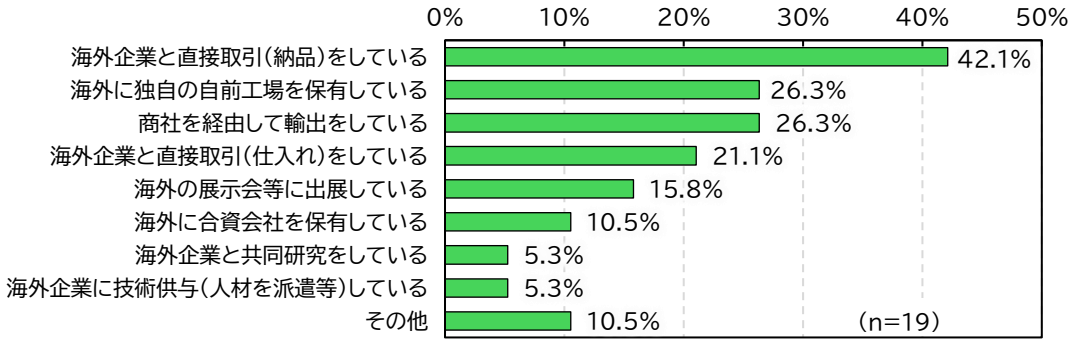
図表 31 海外での事業の展開・実施



問 26 問 25 で「1」もしくは「2」を回答した方のみ

(1) 展開している事業の内容について教えてください。(当てはまるもの3つまで○)

図表 32 展開している事業の内容

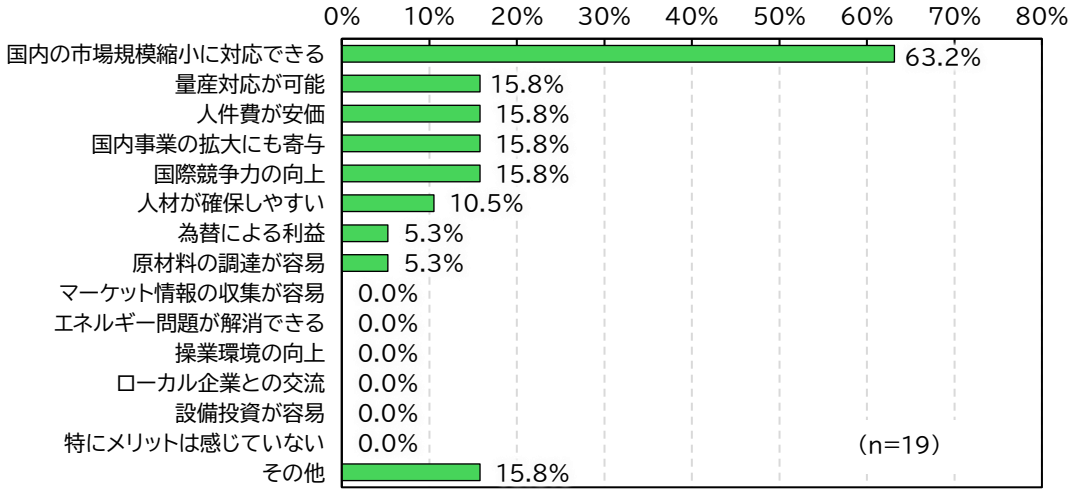


【その他の記述回答】

- 今後、進出予定

（2）海外展開を実施するメリットについて教えてください。（当てはまるもの3つまで○）

図表 33 海外展開を実施するメリット

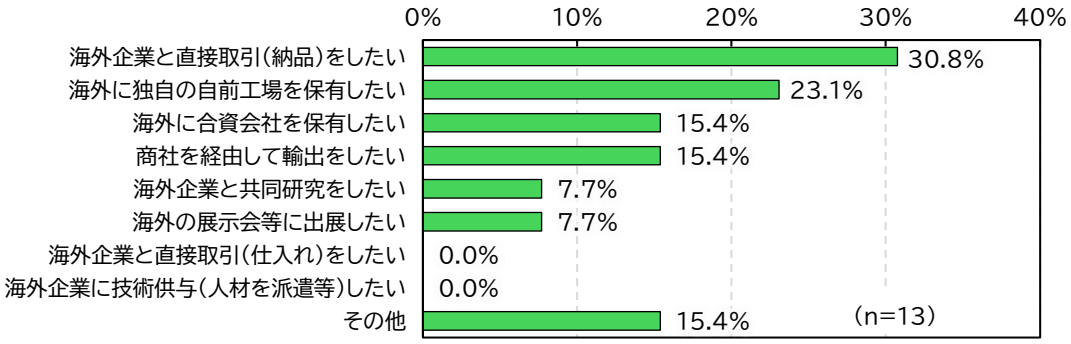


【その他の記述回答】

- ブランド力の向上及び市場の拡大
- 販路拡大

問 27 **【問 25 で「2」もしくは「3」を回答した方のみ】** 今後、展開していきたいと考えている事業について教えてください。（当てはまるもの3つまで○）

図表 34 今後、展開していきたいと考えている事業



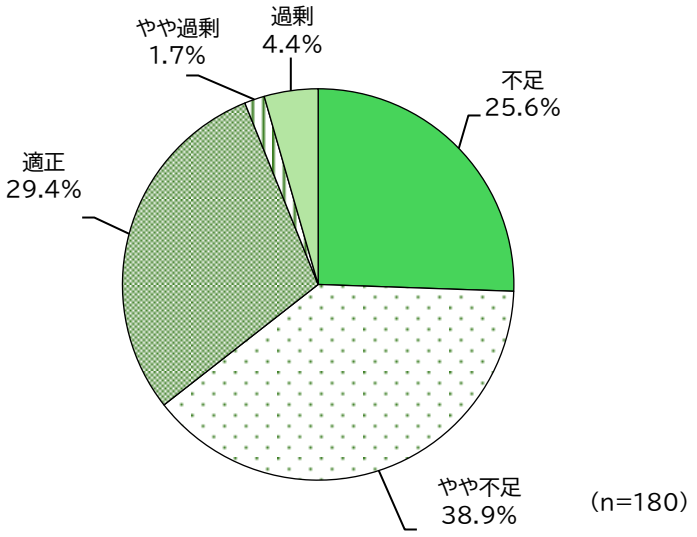
【その他の記述回答】

- 台湾等親日国での住宅施工販売
- 自社で育てた技能実習生・特定技能を採用し、海外で同じ技術で展開していきたい

10. 人材の確保・育成

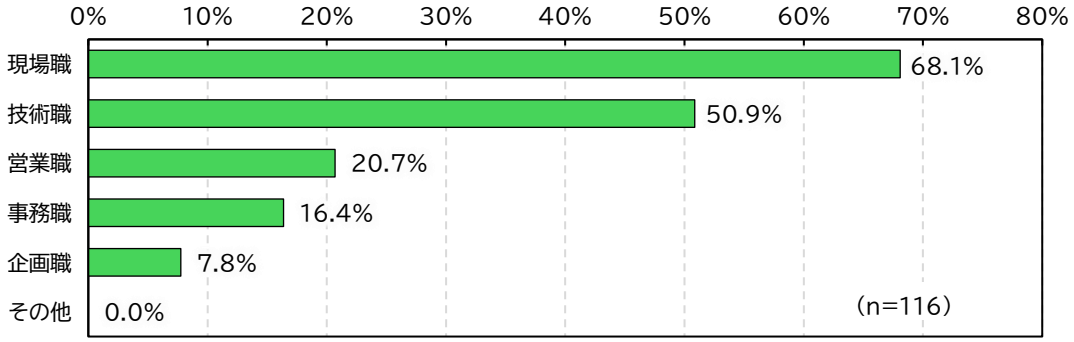
問 28 貴社における労働力の過不足感について教えてください。(1つに○)

図表 35 労働力の過不足感



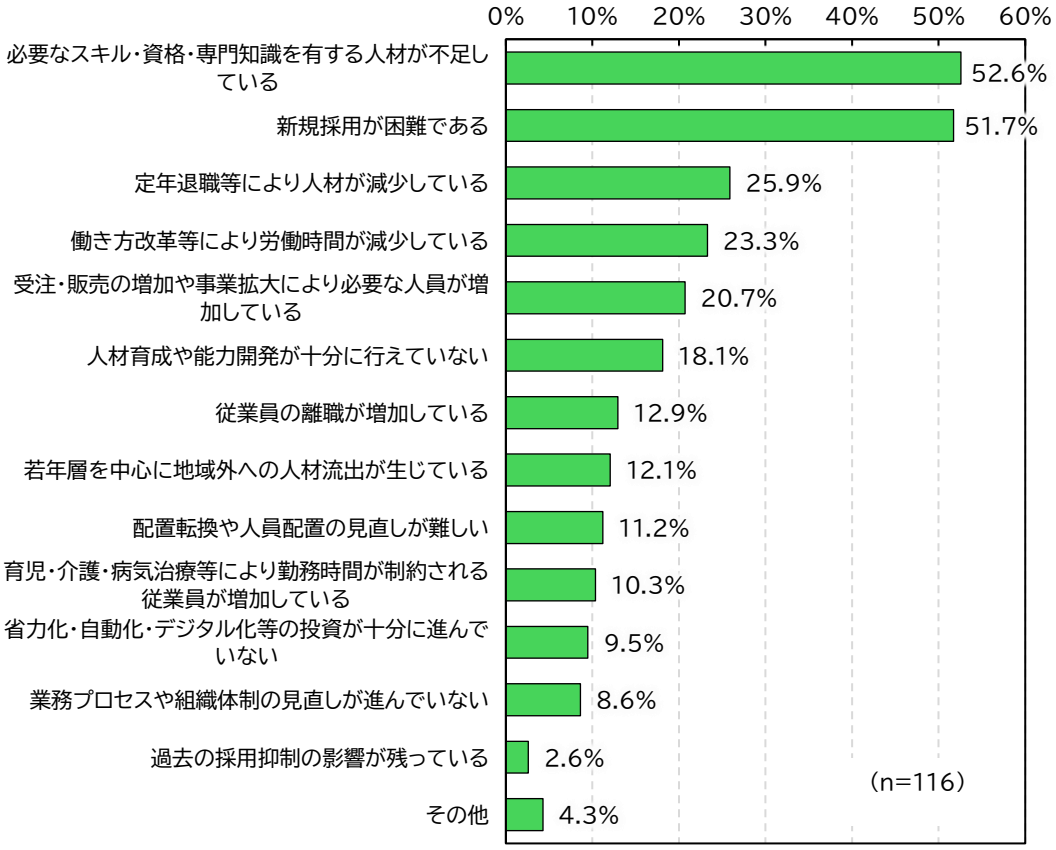
問 29 【問 28 で「1」または「2」を回答した方のみ
(1) 不足している(不足していた)職種について教えてください。(当てはまるものすべてに○)

図表 36 不足している(不足していた)職種



（2）人手が不足している理由について教えてください。（当てはまるものすべてに〇）

図表 37 人手が不足している理由

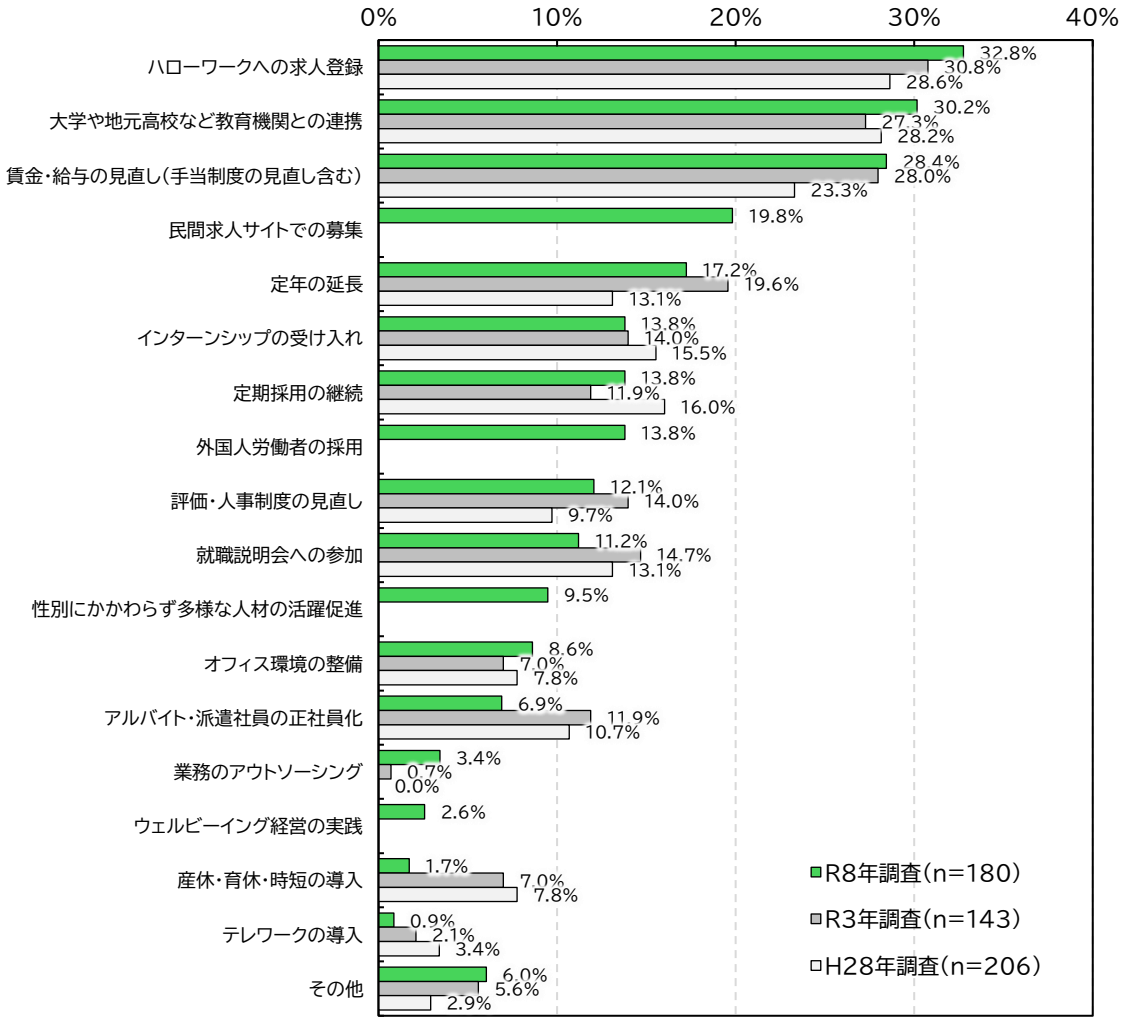


【その他の記述回答】

- 雇用を増やせる経営状況ではない
- 企業の求人に対して人材不足で応えられていない
- 働き方改革に伴い、8 時間で利益を出して給料を支払う事が困難
- 個人事業の為、全てを一人でこなしている

問 30　人材の確保について、今後、重要と思われるのはどのようなこととお考えですか。(当てはまるもの3つまで○)

図表 38　人材の確保について、今後、重要と思われること



(注)「民間求人サイトでの募集」、「外国人労働者の採用」、「性別にかかわらず多様な人材の活躍促進 」、「ウェルビーイング経営の実践」は、R8年調査から新たに訊いた

【その他の記述回答】

- 受注を増やし、利益を出して、給料が支払える様な経営をする
- そうはいっても本人のやる気がないと厳しい
- 運転免許証の取得改革(自動車免許証の取得以前は普通や免許で)4t トラックまで運転可能であった
- 企業に関する情報提供
- ブランディング
- 従来の製造環境の見直しと利益の出る商品の開発
- 通年採用の実施
- 安定的な仕事の受注
- 資金不足

問 31　人材の確保・育成について、行政や大学等関係機関にどのようなことを希望しますか。（自由記述）

- 人材の斡旋、給与上昇に伴う補助、働き方改革を実情にあわせた変更（建設業）
- 高校の進路指導の先生によると、年間休日数が最低 125 日必要とのこと。 1 年の3分の1が休みの社会実現のためにも、公共工事の労務費引き上げと適正工期の設定、書類の簡素化をお願いしたい。（建設業）
- それぞれの企業の問題にそった人材教育の提言と協力が必要と考える。（印刷・同関連業）
- 人材の確保について、企業がどのようにアピールすれば良いか逆に教えてほしい。（プラスチック製品製造業）
- まだ社員教育システムが安定していない。技術はあっても技術の見える化ができていない。見える化と研究（目指すべき姿）を同時進行でできるとありがたい。（金属製品製造業）
- 移住検討者とのマッチング機会を増やしていほしい。また、製造業への転職支援として、佐久技術専門校などの受講支援など異業種への就職支援拡充

  佐久市公式 LINE を使って 佐久出身の学生への帰郷支援拡充

  ・企業情報の提供

  ・就活への金銭支援（交通費支給）

  ・就職決定者へのお祝い金

  ・一人暮らし引っ越し一時金支援　他

  など学生が戻るきっかけになるような支援を拡充（生産用機械器具製造業）
- 中小零細企業では新卒は期待できないため、取り組んでも無駄。むしろ転職やシニア雇用に力を入れた方が中小零細企業には有益。県外からの移住者も自営業やフリーランス家庭を狙うのではなく、一般的なサラリーマン家庭を狙うべき。どんな人材が必要なのか、市内の企業に必要な人材とは何なのか、もう少し掘下げるべきかと思う。あまりに一般的で、ステレオタイプで、言ったら真似事で、それでは人材なんて佐久に集まらない。（生産用機械器具製造業）
- 就職したが離職率も高いと思われる。ミスマッチを防ぐため、大学等教育機関は早めに学生に興味のある企業の情報収集等を進めてほしい。（業務用機械器具製造業）
- 本年育児休暇からの復帰を希望していた社員がいるが、保育園の抽選にもれてしまい、現時点で復帰見込みがたっていない。当社社員のみならず、他の方からも未満児が入園できない話を耳にする。働くお母さんのためにも、保育園の状況を改善してほしい。（電子部品・デバイス・電子回路製造業）
- もう遅い。この仕事はなくなる。（その他の製造業）
- 「食のインフラ」を支える当社の役割を学生にも知ってほしい。（卸売業）
- 少子高齢化に歯止めをかける抜本的な対策を講じてほしい。（小売業）
- 職業体験や調べる事は良いが、自分にあった仕事ばかりでは今後世の中は厳しくなる。自分中心ではなく、世間の歯車の一部であり、どうしてもがんばる時は必要だということは教えてほしい。キレイ事だけではブルーワーカーはいなくなると思う。少し自分さえ良ければ…が強くなり心配。（小売業）
- 医療・保健・福祉分野をはじめとする専門職の養成と定着支援（医療・福祉業）
- 通う生徒たちの志向や希望を、企業側へ教示するような機会の設置（医療・福祉業）
- 当社は市内で保険薬局を運営しており、薬剤師・医療事務の確保に毎年苦慮している。中小事業者の立場から、次のことを希望する。

  【行政に希望すること】

  1. 奨学金返還支援の対象職種の拡大

  医師・看護師を対象とした支援は各地で見られるが、薬剤師・医療事務・介護職まで対象を広げてほしい。医療は多職種で成り立っており、一部の職種だけでは現場は回らない。市内の事業所に一

定期間勤務することを条件とすれば、定着にも直結する。

2．実習生・新規就業者の住まいの確保

薬学生の実務実習は数か月に及ぶが、県外から来る学生の滞在先を中小の薬局が単独で用意するのは困難。市営住宅や空き家を活用した実習生用の宿舎、あるいは借上げ費用の補助があれば、受け入れられる事業所は確実に増える。

3．採用活動の共同化への支援

中小事業者は単独で就職説明会に出展する体力がない。市や職能団体が主催する形での合同説明会の開催、「佐久市で働く医療職」の情報を一元的に発信する仕組みを希望する。

4．潜在有資格者の復職支援

育児・介護で離職した有資格者は地域に相当数いると考えられる。復職研修や短時間勤務のマッチングを行政が担ってもらえると、新卒採用に頼らない人材確保が可能になる。

【大学等関係機関に希望すること】

1．実務実習の受け入れ先として、地方の薬局にも学生を配属してほしい。 学生が地域医療の現場を実際に見ることが、卒業後のＵターンの入口になる。

2．県出身の学生に、地元の求人情報が届く仕組みをつくってほしい。 進学で県外に出た学生に、戻る選択肢があること自体が伝わっていない。

3．認定・専門研修や在宅医療の研修を、オンラインを含め地方でも受講できるようにしてほしい。研修のたびに都市部へ出ることは、少人数の職場では大きな負担。「学び続けられる環境がある」ことは、人材を呼ぶうえでも定着させるうえでも重要。（医療・福祉業）

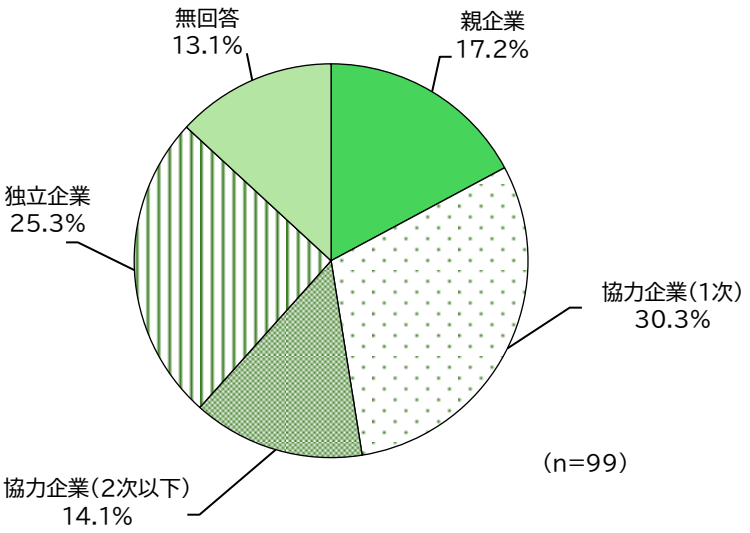
- 人材確保のため、外国人労働者の採用に踏み切っているが、こういった取り組みに対しての支援を希望する。（医療・福祉業）
- 医療・介護分野における人材不足は、個々の事業所だけでは解決が難しい課題となっている。行政や大学には、地域に必要な人材を育成するだけでなく、地域に定着させる仕組みづくりを期待したい。特に、上小地域を含む広域的な視点での人材育成、医療・介護・福祉分野を横断したキャリア形成支援、学生と地域医療機関との接点づくりの強化をお願いしたい。また、デジタル技術の活用や業務効率化を推進できる人材の育成にも力を入れてほしい。人材確保競争を激化させるのではなく、地域全体で人材を育て、定着させる仕組みを構築することが重要だと考える。（医療・福祉業）
- 大学との連携強化…行政、企業との距離があると感じる。行政、企業の情報発信を高める方法の検討が必要と思う。（その他のサービス業）
- 行政は大手の人材会社との連携も良いが、地元の小規模事業者にも目を向け支援してほしい。（その他のサービス業）
- 働くとは何か、なぜ働くのか、社会的責任とは、労働とは、環境へのアプローチ、地域で生きるとは、それぞれの考えが道理に沿って考えられる人材の育成（その他のサービス業）

11. 製造業の現状

製造業の方(「貴社の業種」で「2」～「17」の回答者)のみ回答

問 32　貴社の事業形態について教えてください。(1つに○)

図表 39 事業形態について

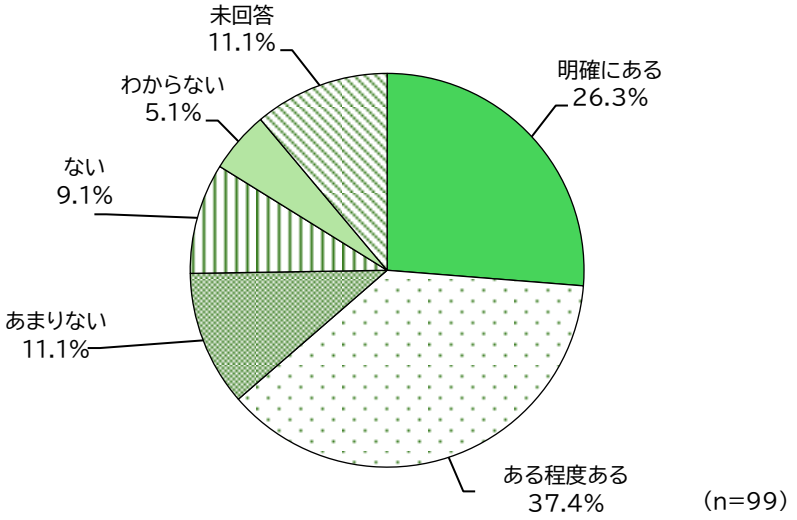


12. 自社独自の強み、アピールできる技術・技能・ノウハウ

問 33、34 は製造業の方(「貴社の業種」で「2」～「17」の回答者)のみ回答

問 33　貴社には、他社に対して強みとしてアピールできる技術・技能・ノウハウがありますか。(1つに○)

図表 40　他社に対して強みとしてアピールできる技術・技能・ノウハウ



(n=99)

問 34　問 33 で「1」～「3」を回答した方のみ

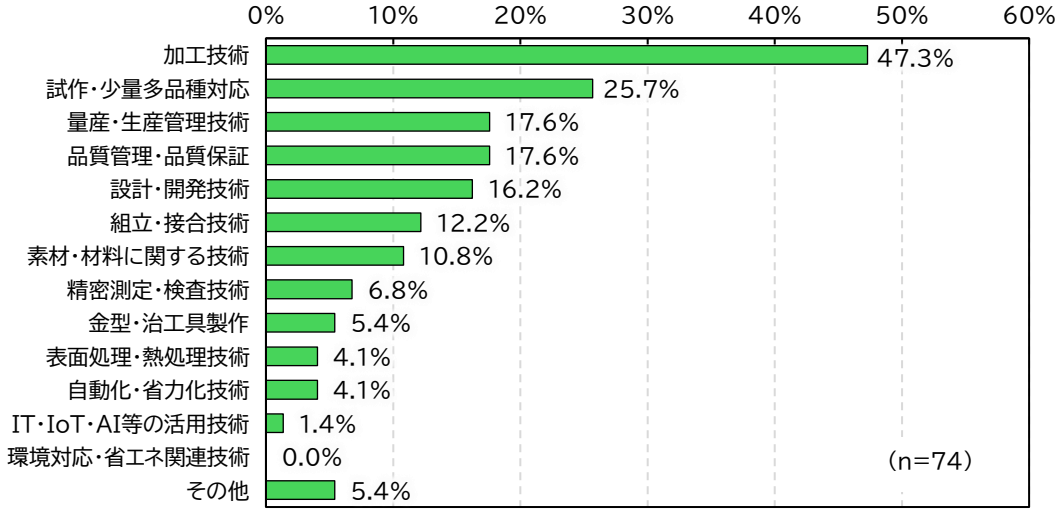
（1）貴社が最もアピールできる技術・技能・ノウハウについて、差し支えない範囲で具体的にご記入ください。

- 商品の品質と独自のデザイン、多種類の商品を製造。品評会での上位の賞受賞で消費者にアピール（食料品製造業）
- 製造しているものほとんどがオリジナル商品（食料品製造業）
- 他社に無い製品が作れる。（食料品製造業）
- 他店にはないものを製造している。（食料品製造業）
- 日本人の胃腸について勉強しており、フランス菓子だが日本人でも胃腸の負担が少ない油脂選びや使い方。年配の方に向くが、見た目でアピール出来る範囲ではない。（食料品製造業）
- ミード製造ノウハウ（飲料・たばこ・飼料製造業）
- 清酒醸造技術（飲料・たばこ・飼料製造業）
- 同業他社にはない商品がある。製品の製造に向き合う意識（飲料・たばこ・飼料製造業）
- 伝統的技術継承に基づく製造業（飲料・たばこ・飼料製造業）
- 家具製造の知識、技術（木材・木製品製造業）
- 製材工場が有り注文に応じた木材を加工出荷出来る（木材・木製品製造業）
- 同業者が少ない（木材・木製品製造業）
- 林業部門とセットで事業を行っている。（木材・木製品製造業）
- 一級技能検定を全ての従業員が取得（木材・木製品製造業）
- 企画・提案力・デザイン力（印刷・同関連業）
- 高精細印刷で高品質、短納期対応の生産体制（印刷・同関連業）
- 化粧品容器の一貫完成生産ライン（プラスチック製品製造業）
- 顧客が要求する品質レベルを満たす容器を提供していること。（プラスチック製品製造業）
- 生産した製品の一部が海外数か国に輸出されているが、コスト面での相応の競争力あり。（プラスチック製品製造業）
- チタンなどの難削材加工。六角穴、多条ネジ、偏芯加工などの特殊加工。全員工場長レベルによる多品種少量生産や短納期への対応力（金属製品製造業）
- 曲面印刷、アルマイト、グリップの製造（つかいやすさ）（金属製品製造業）
- 高肉厚鋼管の溶断加工（金属製品製造業）
- 他社で加工できない品の加工（金属製品製造業）
- 鋳造・ライニング・機械加工等へ対応（金属製品製造業）
- 個人企業ならではの納期、個数、単品等親会社の要望に応えられる。（金属製品製造業）
- 省エネタイプの製品開発力（生産用機械器具製造業）
- 食肉処理機械を開発するノウハウ（生産用機械器具製造業）
- 大物金属切削分野での高精度加工（生産用機械器具製造業）
- 生産納期、組立技術、品質には自信がある。（生産用機械器具製造業）
- 異形鋳造・鍛造部品の超精密加工を営業主体とする。並行度・平面度・直角度・位置度は 0.0 ミリ以下を実現できる。（生産用機械器具製造業）
- 加工技能（業務用機械器具製造業）
- 資材調達（業務用機械器具製造業）
- 取引先からの製造要望に対して、出来る限り要望に沿ったオンリーワンの製品をつくることが出来る。（業務用機械器具製造業）

- 無線通信技術を用いた電子機器の開発、試作、量産対応（電子部品・デバイス・電子回路製造業）
- 2 直体制（電気機械器具製造業）
- 個々の能力アップとユーザーに応えるスピード感（電気機械器具製造業）
- 新規顧客、新規製品であっても短期でマスターできる。（電気機械器具製造業）
- 精度と信頼性（電気機械器具製造業）
- 製品ラインナップの充実（電気機械器具製造業）
- 電子機器の組立、配線　電子機器の設計開発　高周波回路の設計（電気機械器具製造業）
- 各種産業用装置に組込まれる「電源トランス」を設計から製造まで一貫で顧客に提供しており、高い信頼を得ている。（電気機械器具製造業）
- 『製材のこ目立て作業1級』の実技試験の最高点を持っている。（その他の製造業）
- 一貫生産体制（その他の製造業）
- 一人一人の足にあわせた木型（靴の）作成能力。人体を正しく機能させる靴の材料選定。（その他の製造業）
- 革製品の縫製（その他の製造業）
- 食品のこんにゃくをスキンケア用品とした。（その他の製造業）
- 大手企業が出来ない仕事（その他の製造業）
- 現在は国内では当社のみが生産可能（その他の製造業）

（2）その技術・技能・ノウハウは、主にどの分野に関するものですか。（当てはまるもの3つまで○）

図表 41 技術・技能・ノウハウが関係する分野

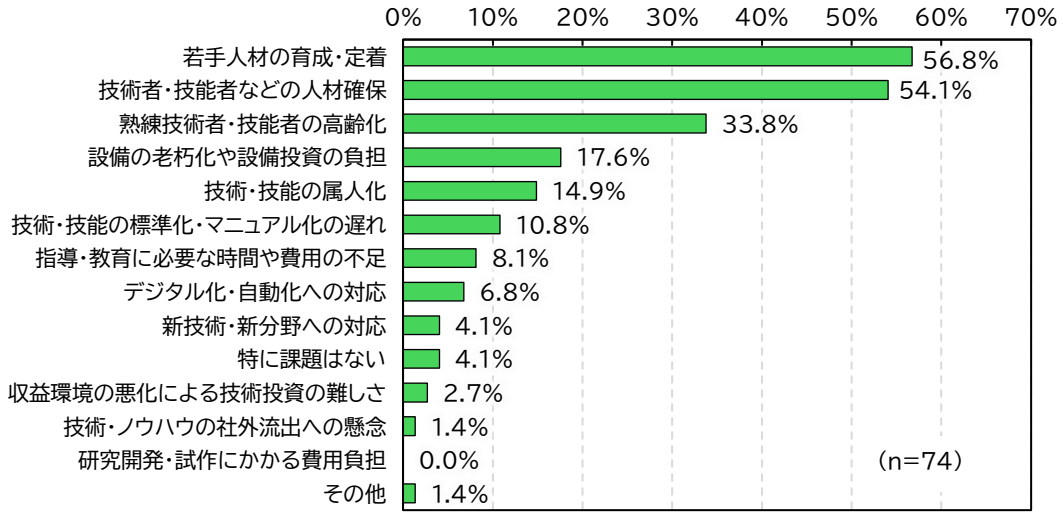


【その他の記述回答】

- 製造技術
- 電気工事
- 印刷技術
- 介護
- 医療・保健・福祉
- 素材、材料に関する知識

（3）その技術・技能・ノウハウを維持・承継・強化していく上で、課題となっていることは何ですか。（当てはまるもの3つまで○）

図表 42 技術・技能・ノウハウを維持・承継・強化していく上で、課題となっていること

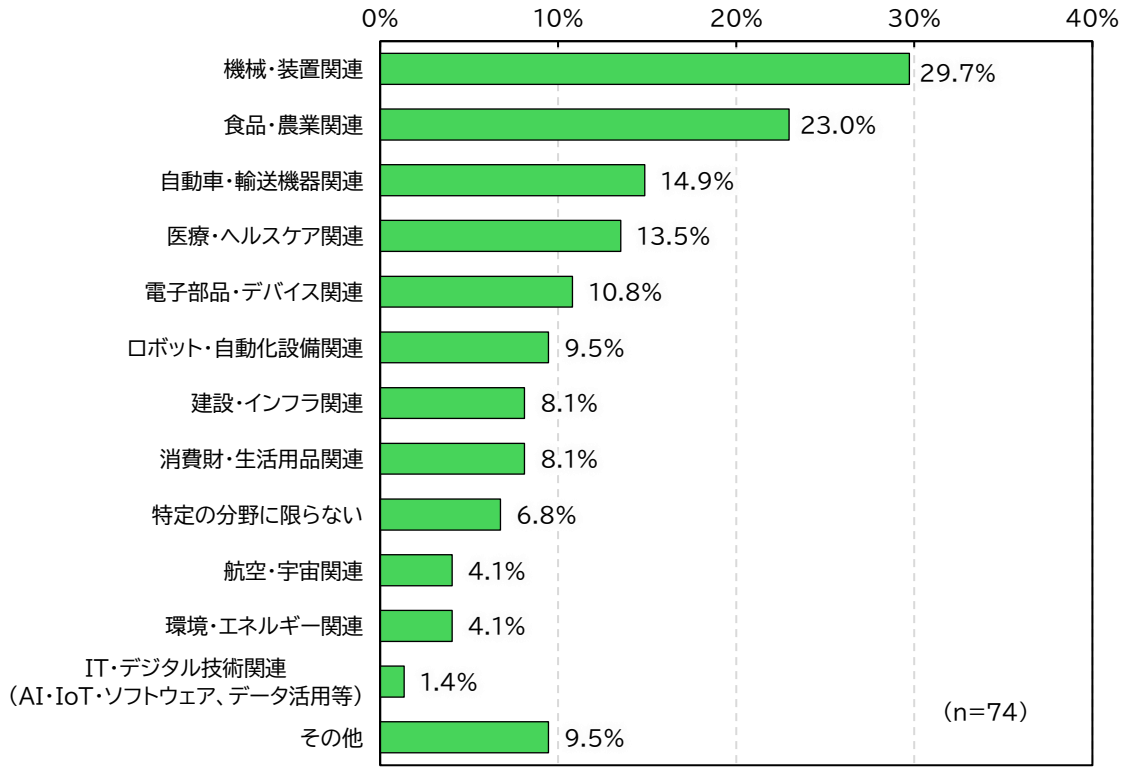


【その他の記述回答】

- 知名度

（4）その技術・技能・ノウハウは、現在、主にどの分野・用途で活用されていますか。（当てはまるもの3つまで○）

図表 43 技術・技能・ノウハウを活用している分野・用途

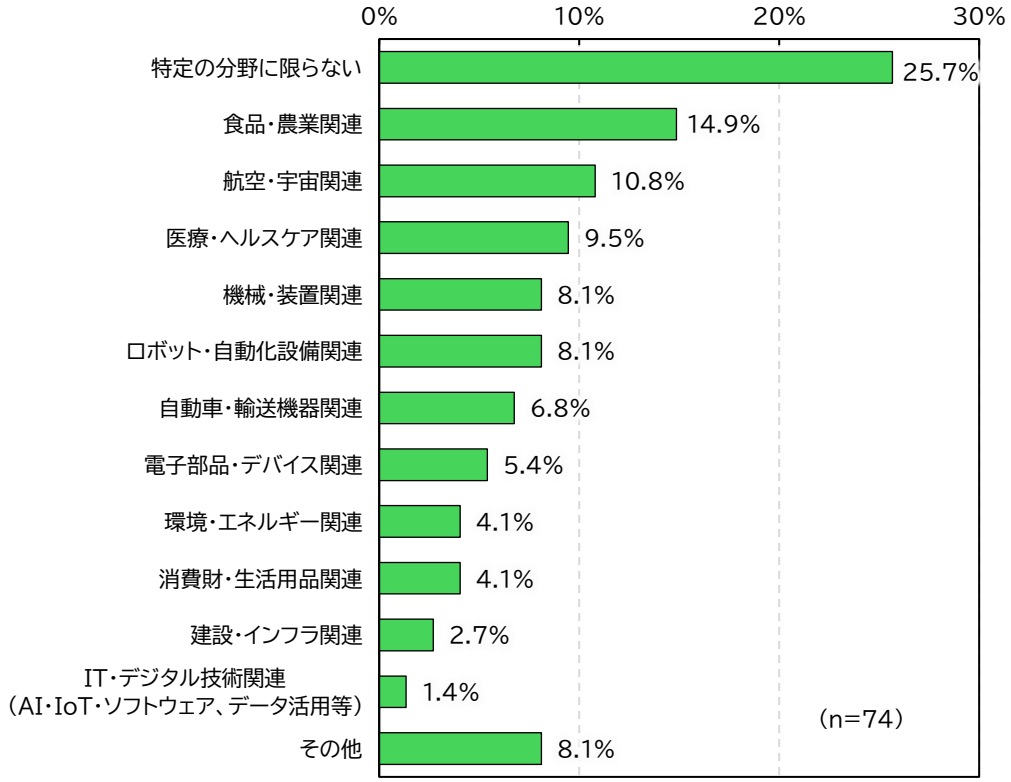


【その他の記述回答】

- 酒類製造関連
- デザイン、住環境
- 電気工事
- スキー、ウォーキング
- 印刷分野
- 医療・保健・福祉
- 化粧品容器、トイレタリー容器

（5）その技術・技能・ノウハウを活かして、今後、新たに展開したい分野・用途はありますか。（当てはまるもの3つまで○）

図表 44 技術・技能・ノウハウを活かして、今後、新たに展開したい分野・用途



【その他の記述回答】

- 半導体分野
- 印刷技術、紙を使った商品開発関連

13. 佐久市の今後の産業振興等について

問 35　その他佐久市の今後の産業振興等について、意見があれば自由に記入してください。（自由記述）

- 10 代 20 代の若者に魅力的な町でなければ活気が生まれない。建設系（できれば土木工学）の学部を佐久大学に新設できれば、アルバイトなどの人材確保ができるのではないか。軽井沢で働く市民にとって、平根小学校前の交差点の渋滞緩和はありがたい。横断歩道橋を設置しては如何か。（建設業）
- 人材の確保が最重要なため、労働者の紹介やそれに伴う費用の補助が必要。安心安全の人材、外国人等の斡旋ができるととてもありがたい。（建設業）
- 観光関係だが、圧倒的に観光スポットが無い。（食料品製造業）
- 固定資産税、住民税の低減（食料品製造業）
- 市単独のレベルで産業振興を行う事に賛同できない。企業の現役経営者が中心になっているとはいえ、厚生労働省経由で同じような支援団体組織が任され産業振興や特に今は生産性向上の取組が行われているのでただの真似事をする必要性もない。（食料品製造業）
- 売上の高い製造業だけでなく、中小の技術を持っている企業のサポート（食料品製造業）
- 佐久市への移住者が増える一方で、人材確保は困難を極めている。移住者が世帯として移住している場合、世帯主が佐久地域の企業に就職した結果の移住であることは少ないと思う。その一方で、その配偶者は就業していない可能性が高く、潜在労働者人口は結構あるのではないかと思う。この配偶者にフォーカスした人材雇用支援、採用支援活動を展開してほしい。（プラスチック製品製造業）
- SOIC に入っているが、一部の実力者による仕組みが強く感じる。コーディネーターも高齢な方が多く、若い研究員など新たな取り組みに強い方が少ない。プロジェクトも起きているが、仲間内ではなく、よりフラットにいける仕組みや研究自体を中心に行うような仕組みが求められるかと思う。（金属製品製造業）
- SOIC を中心にウェルビーイング経営を広げ、佐久市で働くすべての人が幸せで、能力をフルに発揮でき、企業業績も賃金も上がる様に支援してほしい。そしてウェルビーイングシティ佐久の実現を目指したい。（金属製品製造業）
- 県内大企業との商談会、近隣県の大企業との商談会をやってほしい。また全国的な医療系製造業や半導体製造装置系の製造業など旬の企業に対して、商談会を開催したりできないか。（生産用機械器具製造業）
- 産業振興として工業への位置づけが佐久市は低いように感じる。農・商・工・医・建　など様々な分野の産業があるが、工業（製造業）の税収、雇用などは、佐久市において大きな比率ではないかと思うが、行政活動の中で工業振興が最も弱い印象。是非工業（製造業）との連携事業や補助拡充、などに力を入れてほしい。そのためには長期に関わる専門員が必要なのではないかと考える。（生産用機械器具製造業）
- 設備投資、運転資金等の融資を受ける際の金利が今後高くなることが見込まれる。これに対応した助成等の拡充（電気機械器具製造業）
- AI 関連での「データセンター」の需要は高まり、比較的地盤が安定して災害が少なく、水資源にも恵まれ、晴天率の高く太陽光発電も可能な立地（他の発電方法も要検討）で、首都圏にも近い佐久市にとって雇用の創出も含めて積極的にデータセンター誘致を行うべきと考える。（卸売業）
- 首都圏へのアクセスも良い立地条件を活かし、産業基盤の誘致を積極的に行って欲しい。（卸売業）
- 建物に対する補助金が有るととても有難い。（小売業）
- 1. 医療・介護を「地域の基幹産業」として位置づけてほしい。

  佐久市では医療・福祉分野が雇用の大きな部分を担っているが、産業振興の議論では製造業や観光が中心になりがちである。医療・介護は公定価格で運営されており、物価や燃料費が上がってもサービス価格に転嫁できない。最低賃金の引き上げが続く一方で処遇を改善する原資がなく、人材が

他産業へ流れている。市には、医療・介護事業者も産業支援策（設備投資補助、省エネ改修、賃上げ支援等）の対象として明確に位置づけてもらうとともに、国・県に対して現場の実情を届けてほしい。

2．制度対応・DX への「人」の支援

電子処方箋、マイナ保険証、インボイス、電子帳簿保存法と、小規模事業者にとって制度対応が絶え間なく続いている。補助金の枠だけでなく、導入を実際に手伝ってくれる専門人材を派遣する仕組みを希望する。同様に、補助金・助成金は制度があっても申請書類を作成する人手がなく、活用できずに終わることが少なくない。申請窓口の一本化と伴走支援をお願いしたい。

3．事業承継の支援

市内の中小事業者は経営者の高齢化が進んでいる。後継者不在による廃業は、雇用だけでなく地域の生活機能そのものを失わせる。域外資本への売却に頼らず、地域内で承継していける仕組みへの支援を希望する。

4．子育て環境と働き続けられる職場

医療・介護は女性の従事者が多く、保育・学童・病児保育の受け皿がそのまま採用力に直結する。産業振興と子育て支援は別々の政策ではなく、一体のものとして検討してほしい。

5．高齢者の移動手段の確保

通院・買い物の足が失われれば、地域で暮らし続けること自体が難しくなる。デマンド交通等の維持は、あらゆる産業の前提となる基盤だと考える。（医療・福祉業）

- エッセンシャルワーカーと呼ばれる業界への支援を今後も継続してほしい。（医療・福祉業）
- 佐久市の強みである医療・介護・福祉分野を地域の基幹産業として位置付け、関連産業の集積や産学官連携を進めることが重要と考える。新たな地域医療構想を見据え、上小地域を含めた広域連携のもとで、人材・技術・企業が集まる環境を整備し、地域経済全体の活性化につなげていくことを期待する。（医療・福祉業）
- 消費喚起・陳腐化・廃棄を加速して経済的利益を生み出す仕組みが持続的な生活環境を壊していく世界にあって、所有せず分かち合い、廃棄せず循環させ、孤立から共生に向かう社会を地産地消で、他に先駆けて力強く推進して欲しいと願う。大切にしたい美しい佐久の自然、佐久を愛する人々、地域貢献を志す企業団体。佐久には素晴らしい可能性がたくさんある。佐久市の産業振興が、次世代の選択肢を広げる方向へ向かうよう公的機関の舵取りをお願いしたい。（医療・福祉業）
- ①企業の誘致と働きやすい住環境の整備の実現を期待したい。②高齢者の働きやすい環境づくり（その他のサービス業）
- 佐久平駅隣に大型文化会館建設の再検討は可能か。新幹線から徒歩で移動できる。都心や北陸等からイベント、コンサートの来訪、文化向上と発信や、ホテル、飲食店等周辺商業の活性、移住者の増加等見込める。（その他のサービス業）

【注】速報版であり、今後の精査によって数値が変動する可能性があります。

佐久市産業の現状と将来の方向性に関する
アンケート調査結果

令和８年９月
佐久市